

中野市生涯学習事業実施状況・実施計画

令和 2 年度実施状況・令和 3 年度実施計画

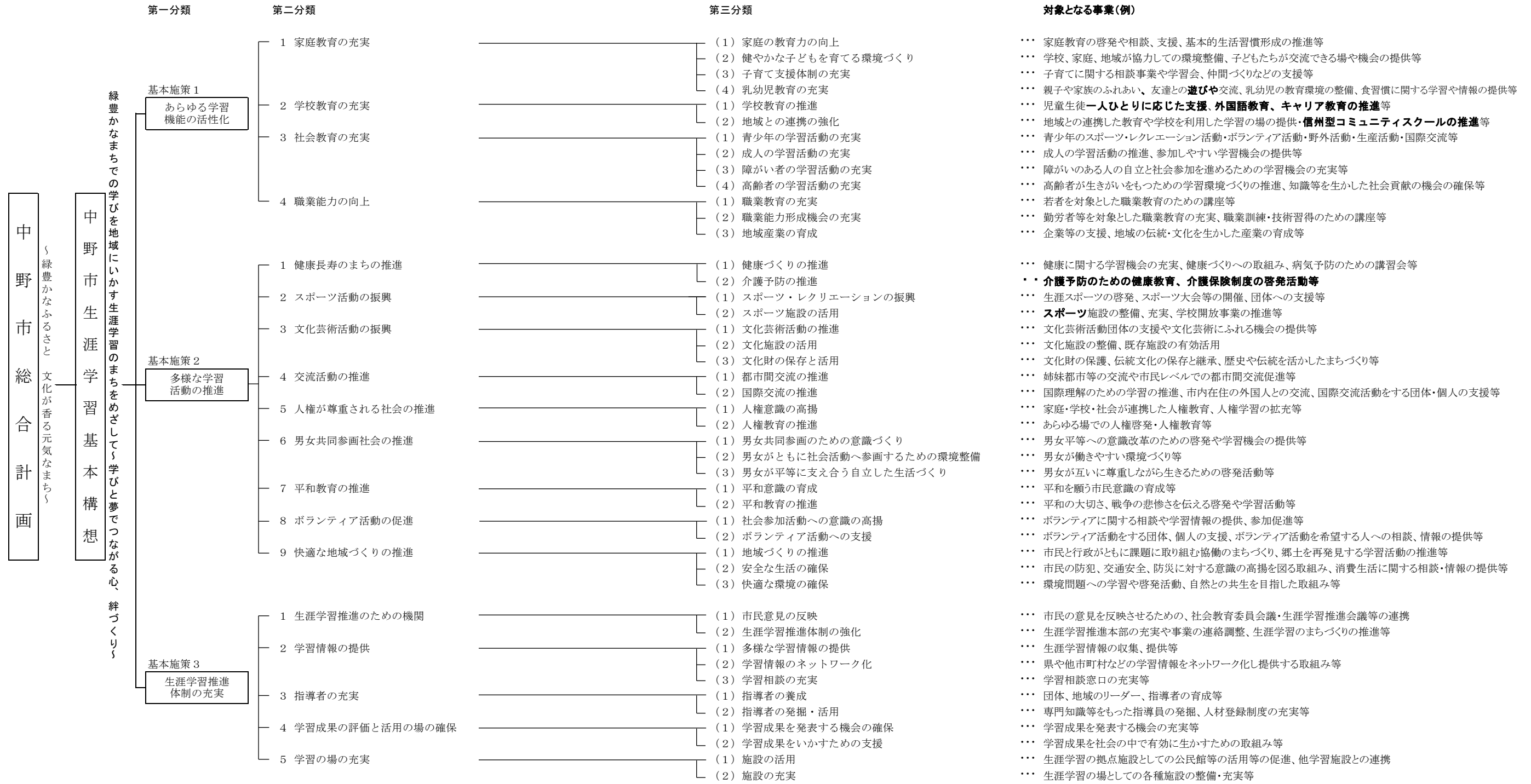


中野市生涯学習推進本部
(中野市教育委員会事務局 生涯学習課)

もくじ

第一分類別	ページ
あらゆる学習機能の活性化	・・・ 1～14
多様な学習活動の推進	・・・ 15～28
生涯学習推進体制の充実	・・・ 29～36
所管課等別	
庶務課	・・・ 25, 29, 31
危機管理課	・・・ 25
政策情報課	・・・ 25
健康づくり課	・・・ 15, 17, 33
福祉課	・・・ 1, 11, 25, 33
社会就労センター	・・・ 11
高齢者支援課	・・・ 11, 17, 33
子育て課	・・・ 1, 5, 33
子ども相談室	・・・ 1
保育課	・・・ 1, 3
環境課	・・・ 27
文化スポーツ振興課	・・・ 17, 19
中山晋平記念館	・・・ 21
高野辰之記念館	・・・ 21
市民課	・・・ 25, 27
消費生活センター	・・・ 27
人権・男女共同参画課	・・・ 23, 35
農業振興課	・・・ 13, 23, 27, 35
商工観光課	・・・ 11, 13, 21, 23, 35
道路河川課	・・・ 27
都市計画課	・・・ 25, 27, 35
消防課	・・・ 27
学校教育課	・・・ 3, 5, 23, 25, 35
生涯学習課	・・・ 21, 25, 29, 31
中央公民館	・・・ 3, 7, 11, 23, 31, 35
北部公民館	・・・ 7, 31, 35
西部公民館	・・・ 3, 7, 9, 11, 31, 35
豊田公民館	・・・ 3, 7, 9, 13, 31
図書館	・・・ 3, 31, 33
博物館	・・・ 7, 9, 33

第2次中野市生涯学習基本構想体系



中野市
緑豊かなふるさと
文化が香る元気なまち

中野市生涯学習基本構想

緑豊かなまちでの学びを地域にいかす生涯学習のまちをめざして、学びと夢でつながる心、絆づくり

あらゆる学習機能の活性化

第二分類	施策名 (第三分類)	事業名	実施(計画)内容	新・継	対象	所管課
家庭教育の充実	(1) 家庭の教育力の向上	早寝・早起き・朝ごはんプラス1(ワン)運動事業	現在、「朝食を食べない」「夜ふかしをする」など、子どもたちの基本的な生活習慣が乱れ、学習意欲や体力、気力に影響を及ぼしていると指摘されている。子どもの望ましい基本的な生活習慣の育成と、生活リズムの重要性を再認識してもらうため、家庭・地域・学校が連携して運動の推進を図る。	継	学校 市民	生涯学習課
家庭教育の充実	(2) 健やかな子どもを育てる環境づくり	児童クラブ育成事業	地域組織の児童クラブに対して事業の運営を委託し、児童の健全育成に努めるとともに子育てに対する軽減を図る。	継	保護者 児童	子育て課
家庭教育の充実	(2) 健やかな子どもを育てる環境づくり	児童の遊び場整備事業	子どもの遊び場を整備するための費用に対し補助し、児童の健全育成を図る。	継	市民(区)	子育て課
家庭教育の充実	(2) 健やかな子どもを育てる環境づくり	学習支援事業	学習に課題を抱える生活困窮者世帯の子どもに対し学習支援を実施し、学習の習慣づけ及び居場所、高校卒業資格取得支援を行う。	継	生活困窮者 世帯の子ども	福祉課
家庭教育の充実	(3) 子育て支援体制の充実	母子父子福祉支援事業	母子父子自立支援員を配置し、母子・父子家庭に対し相談・指導を行い、生活安定と自立支援を図る。	継	保護者	福祉課
家庭教育の充実	(3) 子育て支援体制の充実	子育て支援事業	育児不安解消のため、知識・技術を身につけられるように、遊び場の提供等を通じて子育て支援をする。	継	保護者 児童	子育て課
家庭教育の充実	(3) 子育て支援体制の充実	児童手当給付事業	家庭等における生活の安定に寄与するとともに次代の社会を担う子どもの健やかな育ちに資することを目的とした児童手当を支給する。	継	保護者	子育て課
家庭教育の充実	(3) 子育て支援体制の充実	子ども相談事業	乳幼児から18歳までの児童に関する悩み、心配ごとの相談、問題解決を支援する。(面接、電話)緊急時、時間外等の相談に対応するため専用電話を所持する。 虐待を始めとする要保護児童及び問題行動を抱える児童の適切な保護及び支援を行うため、情報交換や支援内容の協議など関係機関との連携を図る。また、広報等を活用し児童虐待防止を市民に広く啓発する。	継	市民	子ども 相談室

令和2年度 実施状況		令和3年度 実施計画	
回数・参加人数等	現状と課題	概要	期待される効果
今年度からパンフレット等の配布依頼がなくなり、啓発発動はおこなっていない。	各家庭への普及方法の検討が必要。	パンフレット等の配布について依頼があれば協力していく。	家庭教育の課題対応と支援。
学童保育やまびこクラブ 31人	運営を保護者に委託しているため、異なった活動内容となっている。	学童保育やまびこクラブ 45人	安心安全な居場所を提供することによる保護者への就労支援。 上記支援による児童の健全育成。
改修1件	区による遊具の管理が難しく、撤去の希望が増えている。	新規1件 改修1件	区の遊び場の整備に対する負担の軽減。
学習・生活支援 高校生 12人 小中学生 4人	-	生活困窮者自立支援法に基づき、学習に課題を抱える生活困窮世帯の子どもへの学習支援。 小中学生 2人 高校生 13人	学習の習慣づけ、高校卒業資格取得による貧困の連鎖防止。
母子父子自立支援員を配置し、母子・父子家庭に対し相談・指導を行い、生活安定と自立支援を図った。 母子家庭数 455世帯 父子家庭数 57世帯	母子・父子家庭の形態が多様化する中、子どもを含めた総合的支援が必要。	母子父子自立支援員を配置し、母子・父子家庭に対し相談・指導を行い、生活安定と自立支援を図る。	相談・指導により、母子・父子家庭の精神的及び経済的な安定。
利用者人数 中央子育て支援センター 5,294人 (子 2,959人 親 2,335人) 北部子育て支援センター 2,948人 (子 1,633人 親 1,315人) 豊田子育て支援センター 3,142人 (子 1,787人 親 1,355人)	毎月センターごとに催しを企画している。また、定期的に保健師や栄養士、歯科衛生士等の専門スタッフによる相談を行っている。	利用者人数 中央子育て支援センター 13,500人 北部子育て支援センター 9,000人 豊田子育て支援センター 10,000人	遊び場の提供や子育てに係る情報の発信を行い、子育てに係る負担の軽減。
支給対象児童数 5,013人	関係法令に基づき給付を行っている。	支給対象児童数 5,100人	子育てに係る経済的負担の軽減。
・子ども相談（面接、電話） 延べ2,373件 ・発育発達相談 公立保育園11園、私立保育園1園、私立幼稚園1園、認定こども園1園（計14園） 延べ345件 ・個別相談 延べ109件 ・中野市子どもサポート連絡協議会協議会 2回（5月、2月書面会議） 実務者会議 3回（7月、10月、2月） 個別ケース会議 155件	乳幼児から18歳までの子どもに関する相談窓口のため、多くの関係機関との連絡調整が必要であり、日程調整、支援会議の進行、役割分担等進捗管理が相談件数の増加と共に増えている。	・子ども相談（面接、電話）の実施 ・発育発達相談の実施 公立保育園、私立保育園、私立幼稚園、認定こども園 ・個別相談を実施する。 ・中野市子どもサポート連絡協議会の開催 協議会2回（5月、2月） 実務者会議3回（7月、10月、2月） 個別ケース会議 随時	家庭支援を行うことで、親子関係の改善や子どもの健やかな成長。

第二分類	施策名 (第三分類)	事業名	実施(計画)内容	新・継	対象	所管課
家庭教育の充実	(3) 子育て支援体制の充実	保育所運営事業	保育の必要性の認定を受けた児童等の入所を実施し、児童の保育の充実を図る。	継	保護者	保育課
家庭教育の充実	(3) 子育て支援体制の充実	特別保育事業	保護者の就労形態の多様化による保育時間の延長及び保護者の傷病等により一時的に保育が必要な児童の保育を行う。	継	保護者	保育課
家庭教育の充実	(3) 子育て支援体制の充実	中央生涯学習推進事業	家庭教育学級	継	保護者 幼児	中央公民館
家庭教育の充実	(3) 子育て支援体制の充実	西部生涯学習推進事業	家庭教育学級	継	保護者 幼児	西部公民館
家庭教育の充実	(3) 子育て支援体制の充実	豊田生涯学習推進事業	家庭教育学級 親子での体験やふれあいを通して、親子がともに学び育つ講座を開催する。 親子同士の交流を支援し、情報交換や悩み等の共有の場を設けることで、子育てしやすい社会づくりを支援する。	継	保護者 幼児	豊田公民館
家庭教育の充実	(4) 乳幼児教育の充実	幼児教育振興事業	私立幼稚園の育成と就園児家庭の保育料の軽減のため、補助を行う。	継	幼稚園	保育課
家庭教育の充実	(4) 乳幼児教育の充実	ブックスタート事業	乳児期から親子で読書に親しむため、7ヶ月健診時に絵本の読み聞かせを実施し、優良絵本の贈呈を行う。 子どもの読書推進を図るため、読み聞かせ講座等を開催する。	継	保護者 乳幼児 一般	図書館
学校教育の充実	(1) 学校教育の推進	一般教育振興事業	きめ細やかな学習指導と、個々に応じた教育的ニーズに対応するため、教材の整備や人的配置をする。	継	児童・生徒	学校教育課

令和2年度 実施状況		令和3年度 実施計画		
回数・参加人数等		現状と課題	概要	期待される効果
月平均入所児童数 公立 11園 1,023人 私立 1園 90人 認定こども園 1園 (保育) 111人 (教育) 68人 市外保育所入所委託 20人 市外認定こども園入所委託 4人		全体的に入所児童数が前年度より減少している。	保育の必要性の認定を受けた児童等を保育所に受け入れ、多様な子育てニーズに対応しながら、個々の子どもの個性や発達段階に応じた保育を行う。	保育の必要性の認定を受けた児童等を受け入れることにより、子育て支援。
事業実施園数 延長保育事業 11園 一時的保育事業 4園 休日保育事業 1園 病後児保育事業 1園 病児・病後児保育事業 1施設		保護者のニーズにより、保育時間の選択が可能となっている。	保護者の疾病や就労形態の多様化により一時的に保育が必要な児童の保育を行う。	保護者ニーズに合わせた子育て支援。
家庭教育学級（楽しんで子育て） 実施数 7回 参加延べ人数 41人 うち保護者 34人		多面的学習の場として定着し、継続している。	家庭教育学級（楽しんで子育て） 7回	子育てについての学習やリフレッシュの場、仲間同士で交流し合う場を通じて心豊かに過ごし子育ての意識向上の推進。
すくのび学級（家庭教育学級） 音楽と楽しく遊ぼうリトミック 5回 48人 わらべ歌産後ダンス 2回 4人 親子でスキンシップダンス 2回 24人 音楽リフレッシュ講座 1回 20人		新型コロナウイルス感染拡大に伴い4月・5月の講座が中止になり、回数が減ってしまいました。子育てでママ達の情報交換やリフレッシュの場として好評にて継続している。	すくのび学級（家庭教育学級） 音楽と楽しく遊ぼうリトミック 5回 親子でスキンシップダンス 2回 音楽でリフレッシュ 1回 親子で楽しむ産後ダンス 3回 ペットン手形アートで遊ぼう 1回	親子のコミュニケーションの推進。子育てに関する悩みや疑問の解消や情報交換の場。
家庭教育学級 英語であそぼ 4回 延べ人数 74人		子育てに反映できる学習の場として、参加者には好評で継続している。公民館としての家庭教育のあり方を追求していく必要がある。新たな指導者の確保が困難になってきている。	家庭教育学級 英語であそぼ 3回	子どもが健全に成長できる家庭環境づくりの推進。子育てしやすい社会づくりの推進。育児中の親同士の情報交換の場
保護者負担軽減補助 1園 7人 （多子世帯補助金対象者）		公立保育園と私立保育園の保護者負担の格差是正が必要である。	幼児教育の振興を図るため、保護者負担軽減のための補助を行う。	保護者負担の軽減
ブックスタート ファーストブック 年11回 274人 548冊 セカンドブック 年11回 337人 (337冊) 乳幼児のお話し会 年38回 376人 絵本の読み聞かせ出前 年33回 3,245人		7ヶ月健診時と3歳検診時に絵本のプレゼントを行っているが、感染症予防対策のため読み聞かせが実施できていない。	ブックスタートの オリエンテーション 年12回（毎月）300人 600冊 セカンドブックと読み聞かせ 年12回（毎月）300人 300冊 乳幼児のお話し会 年46回 絵本の読み聞かせ出前 年51回	乳幼児期からの読書に親しむ環境が構築できる。
・就学相談委員会 7回開催 ・特別支援教育支援員等の配置 39人 ・講師の配置		・特別な教育を必要とする児童生徒の増加。 ・個々にあった就学体制の強化。	・就学相談委員会 5回開催 ・教育支援員等の配置 43人 ・講師の配置	・学習意欲の向上。 ・適切な就学支援により将来を見すえた教育的効果の推進。

第二分類	施策名 (第三分類)	事業名	実施(計画)内容	新・継	対象	所管課
学校教育の充実	(1) 学校教育の推進	地域学習推進事業	各学校が創意工夫を生かし、身近な地域の様々な人々との協働学習や多様な体験を通じた課題探究型の学習など、児童生徒の生活意欲、学習意欲、知的好奇心を十分に引き出すような形態の学習を推進する。	継	学校	学校教育課
学校教育の充実	(1) 学校教育の推進	小中学校外国語教育推進事業	グローバル化する社会の中で、将来を担う子ども達が国際化社会に対応し、多くの人とのコミュニケーションを図る力を養うため、読む、書く、聞く、話すそれぞれのバランスが取れた総合的な英語力の向上を推進する。	継	児童生徒	学校教育課
学校教育の充実	(1) 学校教育の推進	中野市奨学基金貸与事業	次世代を担う優秀で意欲ある人材や特色のある人材を育成するため、奨学金を貸与する。	継	大学生等	学校教育課
学校教育の充実	(1) 学校教育の推進	教育扶助事業	経済的理由により就学困難と認められる児童の保護者と特別支援学級に就学する児童の保護者に対し必要な援助を行う。	継	保護者	学校教育課
学校教育の充実	(1) 学校教育の推進	小中学校キャリア教育推進事業	学校の特色や地域の実情を踏まえながら、子どもたちの発達段階にふさわしいキャリア教育を推進する。	継	児童生徒	学校教育課
学校教育の充実	(2) 地域との連携の強化	学校管理運営事業	信州型コミュニティスクール学校運営委員会により、開かれた学校づくりを推進するとともに、教育環境の充実を図る。	継	学校	学校教育課
学校教育の充実	(2) 地域との連携の強化	放課後児童健全育成事業	下校後、保護者が不在となる児童の健全育成を図るため、学校の余裕教室と専用施設で放課後児童クラブ事業を行う。	継	保護者 児童	子育て課
学校教育の充実	(2) 地域との連携の強化	放課後子ども教室推進事業	小学生を対象として、安心安全な活動拠点を設け、地域住民の参画を得て、勉強やスポーツ、文化活動を行う。	継	児童	子育て課
社会教育の充実	(1) 青少年の学習活動の充実	青少年対策事業	(1)有害環境の浄化及び非行等の防止活動 (2)健全な青少年の育成 (3)家庭教育支援の推進 (4)子ども地域活動促進事業 (5)子どもセンターの運営	継	子ども	子育て課

令和2年度 実施状況		令和3年度 実施計画					
回数・参加人数等		現状と課題		概要		期待される効果	
交付金を支給 ・小学校 8校 ・中学校 4校		地域との連携に重点を置きつつ、事業の趣旨に沿った事業実施の徹底を図る必要がある。		交付金を支給 ・小学校 7校 ・中学校 4校		地域との連携の強化と各学校の魅力向上。心豊かで責任感と思いやりのあるたくましい児童生徒の育成。	
・外国語指導助手（ALT）の配置 小学校 2名 中学校 3名 ・外部検定試験受験料の補助 ・中学生グローバル講座&海外留学研修事業（新型コロナウイルス感染症の影響で開催を取りやめた）		外国語外部検定試験の助成の周知方法		・外国語指導助手（ALT）の配置 小学校 2名 中学校 3名 ・外部検定試験受験料の補助		国際化社会に対応できるコミュニケーション能力の養成。	
新規貸与決定者 8名		市内に就職等した奨学生の負担軽減を図るため、償還の一部免除を検討する。		・新規貸与予定者 4名		次代を担う優秀で意欲のある人材の育成。	
経済的理由により就学困難と認められる児童生徒の保護者への就学援助、及び特別支援学級に就学する児童生徒の保護者に対し就学奨励費の支給を行った。		必要な援助を受けられるよう、制度の周知の徹底を図る必要がある。		経済的理由により就学困難と認められる児童生徒の保護者への就学援助、及び特別支援学級に就学する児童生徒の保護者等に対し就学奨励費の支給を行う。		等しくその能力に応じた教育を受ける機会の提供。	
・夢の教室の開催 新型コロナウイルス感染症の影響で開催を取りやめた。 ・講演会、ジョブセミナーの開催 全中学校		子どもたち一人ひとりの個性や能力を伸ばし、社会で発揮できる力を養うことができる。		・夢の教室の開催 小学校5・6年生全員 ・講演会、ジョブセミナーの開催 全中学校		子どもたち一人ひとりの個性や能力を伸ばし、社会で発揮できる力の養成。	
学校運営委員会の開催 年2～3回（学校による）		多面的な視野から学校運営を見直すことができる。		学校運営委員会の開催 年2～3回（学校による）		開かれた学校づくりの推進。 教育環境の充実。	
日野放課後児童クラブ 26人 延徳放課後児童クラブ 63人 豊井放課後児童クラブ 47人 永田放課後児童クラブ 12人 中野放課後児童クラブ 123人 平野放課後児童クラブ 93人 平岡放課後児童クラブ 103人 高丘放課後児童クラブ 78人 長丘放課後児童クラブ 34人 科野放課後児童クラブ 25人 倭放課後児童クラブ 29人		保護者のニーズが多様化している。		日野放課後児童クラブ 25人 延徳放課後児童クラブ 60人 豊井放課後児童クラブ 43人 永田放課後児童クラブ 12人 中野放課後児童クラブ 120人 平野放課後児童クラブ 90人 平岡放課後児童クラブ 100人 高丘放課後児童クラブ 75人 長丘放課後児童クラブ 34人 科野放課後児童クラブ 29人 倭放課後児童クラブ 27人		安心安全な居場所を確保することにより保護者の就労支援。 上記支援による児童の健全育成。	
日野小学校 29人 延徳小学校 55人 高丘小学校 17人 豊井小学校 33人 永田小学校 5人		小学校の体育館で活動をしているため、人数が多いところは全学年同時に活動することが難しい。		市内4小学校で年間20～30回実施。（日野、延徳、高丘、豊田）		異年齢での活動による社会性や協調性の習得。 地域の方との関わりによる興味の多様化。	
・補導活動街頭補導 45回 ・強調月間啓発活動 1回 ・リーダー研修会 4回 ・学んで育てる市民のつどい 1回 ・子ども地域活動促進事業補助 52団体 ・子どもセンターだよりの発行 3回		イベント等の参加者が少ない。 指導者不足である。		・有害環境の浄化及び非行等の防止活動 ・健全な青少年の育成 ・家庭教育支援の推進 ・子ども地域活動促進事業		青少年健全育成運動の推進。 活力ある地域社会づくりの推進。	

第二分類	施策名 (第三分類)	事業名	実施(計画)内容	新・継	対象	所管課
社会教育の充実	(1) 青少年の学習活動の充実	中央生涯学習推進事業	子ども育成事業	継	子ども	中央公民館
社会教育の充実	(1) 青少年の学習活動の充実	北部生涯学習推進事業	子ども教室	継	児童 保護者	北部公民館
社会教育の充実	(1) 青少年の学習活動の充実	西部生涯学習推進事業	子どもたちに様々な学習や体験する場を計画実施	継	児童・生徒 地域子供会	西部公民館
社会教育の充実	(1) 青少年の学習活動の充実	豊田生涯学習推進事業	チャレンジ子ども教室 地域の自然や伝統行事、職業体験等を通して、子どもの学習意欲や社会性、コミュニケーション能力を養う教室を開催する。	継	子ども	豊田公民館
社会教育の充実	(1) 青少年の学習活動の充実	博物館体験教室事業	キッズアカデミー講座 モノ作りを通して、作るモノにまつわる自然、歴史、文化などを学習・体験する講座の実施	継	子ども	博物館
社会教育の充実	(2) 成人の学習活動の充実	中央生涯学習推進事業	なかの21市民講座 まちづくり講演会 地域学習講座 生きがいつくり講座 教養講座 教育講座 分館講座	継	市民	中央公民館
社会教育の充実	(2) 成人の学習活動の充実	北部生涯学習推進事業	生きがいつくり講座教養講座 教育講座 分館講座	継	市民	北部公民館

令和2年度 実施状況		令和3年度 実施計画	
回数・参加人数等		現状と課題	
回数・参加人数等		概要	
回数・参加人数等		期待される効果	
・子ども育成講座 実施回数 4回 参加延べ人数 86人	子どもたち一人ひとりの個性や能力を伸ばし、社会で発揮できる力を養うことができる。	・子ども育成講座 6回	学習や体験を通じた知識、技能や関係性の養成。
親子体験教室 あるある探険隊 (中止 2回) 子ども教室 夏休み子ども講座 陶芸 中止 新聞工作 中止 ※新型コロナウイルス感染防止のため 公民館開放事業 2回211人	新型コロナウイルス感染症拡大のため、中止とした講座があった。感染予防を徹底しながら、青少年の学習活動の場を提供していきたい。	親子体験教室 6回 あるある探険隊 6回 その他子ども教室 6回	様々な体験、学習活動を通じた自主性・協調性の育成。
夏休み子ども教室 (エコクラフト教室 1回 6人) 春休み子ども教室 (光るペンダントづくり教室) 1回 24人 西部花のまちづくり事業 1回 19人 春休み公民館開放 11日間 28人	コロナ禍の中で、夏休みが短く、子どもにも様々な行事があり、参加者の確保が難しくなっている。	夏休み子ども教室 1回 春休み子ども教室 1回 西部花のまちづくり事業 1回 夏・春休み公民館開放 2回	様々な体験、学習活動を通じ地域や社会への協調性・コミュニケーション能力の育成。親子がふれあう機会の提供。
チャレンジ子ども教室 もっちりふわふわ ドーナツスクイーズを作ろう 1回 25人 春休み子ども教室 1回 14人 スイーツソープを作ろう 中止 夏休み子ども教室 中止 ※新型コロナウイルス感染防止のため	児童の参加については、学校・部活の行事等も考慮する必要がある。他の行事予定に気を配りながら、より付加価値の高い体験教室の模索が必要。	チャレンジ子ども教室 4回	子どもの学習意欲や社会性・協調性、コミュニケーション能力の向上。自発性・主体性の発達。自ら発展・成長する人的資源と社会基盤の育成。
キッズアカデミー (子ども向けの体験教室) の開催 文科系講座 6回 100人 科学系講座 6回 129人	参加者を増やすための周知方法や開催方法を検討する必要がある。	キッズアカデミー (子ども向けの体験教室) の開催 文科系講座 10回 科学系講座 10回 ワークショップ 5回	体験講座を通じた興味や考える力の向上。
地域学習講座 生きがいつくり講座 地域歴史講座 教育講座 教養講座 分館講座 高齢者人材活用事業 世代間交流事業 実施数 75回 参加延べ人数 1,342人	地域に生活する住民はさまざまな生活課題をもっており、ニーズに対応した講座を開設する必要がある。	地域学習講座 生きがいつくり講座 文化教養講座 教育講座 文学歴史講座 健康講座 伝統文化講座 分館講座 高齢者人材活用事業 世代間交流事業	学習の場、育成の場、交友の場を提供。
生きがいつくり講座 スポーツ吹矢と健康講話 6回 58人 薬膳講座 3回 36人 笑いヨガ健康講座 3回 43人 北部生きがい大学 10回 271人 歴史講座 3回 51人 ファミリーコンサート 1回 41人 その他 16回 208人	参加者も多く、広い分野での学習により、生きがいを見出す事業として定着している。	生きがいつくり講座 スポーツ吹矢と健康講話 6回 歴史講座 3回 健康体操 4回 笑いヨガ健康講座 5回 北部生きがい大学 10回 その他 5回	社会生活をより豊かに、生きがいを持って送るための機会の提供。

第二分類	施策名 (第三分類)	事業名	実施(計画)内容	新・継	対象	所管課
社会教育の充実	(2) 成人の学習活動の充実	西部生涯学習推進事業	生きがいつくり講座・世代交流事業歴史講座新しい知識や技術の習得、趣味、教養、福祉、環境、地域の抱える問題など幅広い学習機会の充実を図り、学習活動を推進する。	継	市民	西部公民館
社会教育の充実	(2) 成人の学習活動の充実	豊田生涯学習推進事業	地域学習講座・生きがいつくり講座・教養講座・教育講座・分館講座など 広い分野の趣味・教養の学習により、サークル活動やライフワーク、生きがいを見出すきっかけとなることを目的とした講座を開催する。	継	市民	豊田公民館
社会教育の充実	(2) 成人の学習活動の充実	博物館講座展示会事業	博物館講座 みんなで研究コース 学芸員と学ぶ講座 受講者が自ら調査、発表を目的とする受講者主体の講座、中野市の自然と歴史・文化を学ぶことを目的とする学芸員による講座の実施	継	市民	博物館

令和2年度 実施状況		令和3年度 実施計画	
回数・参加人数等	現状と課題	概要	期待される効果
<p>生きがいがづくり事業・世代交流事業</p> <p>近世文書講座 10回 95人</p> <p>生きがいがづくり講座1 (ベビーマッサージ) 4回 21人</p> <p>生きがいがづくり講座2 (うた声のひびき) 11回 68人</p> <p>生きがいがづくり講座3 (エンジョイ♪アロマ教室) 5回 40人</p> <p>生きがいがづくり講座4 (花の物語教室) 5回 40人</p> <p>生きがいがづくり講座5 (リラクسسヨガ講座 第1期) 4回 40人</p> <p>生きがいがづくり講座6 (リラクسسヨガ講座 第2期) 4回 61人</p> <p>生きがいがづくり講座7 (バレンタイン・コンサート) 1回 21人</p> <p>食育講座 (キムチづくり講座) 2回 23人</p> <p>やしょうまづくり講座 2回 23人</p>	<p>新たな指導者の確保が困難になりつつある。</p> <p>中学生以上からシニア世代以前までの中間層の参加が少ない。長く開催している講座はサークル活動へと移行出来るように支援。新しい講座を開催できるように検討している。</p>	<p>生きがいがづくり事業・世代交流事業</p> <p>近世文書講座 10回</p> <p>生きがいがづくり講座1 (ベビーマッサージ) 4回</p> <p>生きがいがづくり講座2 (うた声のひびき) 10回</p> <p>生きがいがづくり講座3 (ふでペン習字教室) 10回</p> <p>生きがいがづくり講座4 (エンジョイアロマ教室) 4回</p> <p>生きがいがづくり講座5 (リラクسسヨガ教室 第1期) 5回</p> <p>生きがいがづくり講座6 (リラクسسヨガ教室 第2期) 5回</p> <p>生きがいがづくり講座7 (ゆかた着付け教室) 3回</p> <p>食育講座 (キムチづくり講座) 2回</p> <p>(やしょうまづくり講座) 1回</p> <p>(親子で作るおやき教室) 1回</p>	<p>生きがいをもちつための機会の提供。</p> <p>地域に伝わる伝統の継承。</p> <p>学習の場、交友の場を提供。</p>
<p>生きがいがづくり・教養講座</p> <p>大人のピアノ講座</p> <p>竹細工入門</p> <p>サイズアップ野菜づくり</p> <p>バラの育て方教室</p> <p>ウォーキング講座</p> <p>秋からはじめる俳句講座</p> <p>和紙ちぎり絵</p> <p>北信濃の室町・戦国時代と城</p> <p>椅子ヨガ</p> <p>ふるさとの歴史を掘る</p> <p>机上講座 斑尾山自然探訪 29回</p> <p>延べ人数 388人</p> <p>タカと小鳥を探す旅 中止</p> <p>やってみよう筋トレ 中止</p> <p>※新型コロナウイルス感染防止のため</p> <p>地域伝統講座</p> <p>伝統行事ものづくり体験 1回 20人</p> <p>文化講演会</p> <p>アクティブ・エンディング～大人の終活新作法～ 金子稚子氏 1回 49人</p>	<p>参加者の趣味・教養の講座開催については、ニーズに対応する必要がある。</p>	<p>生きがいがづくり・教養講座</p>	<p>自らの成長、発展。</p> <p>人的資源と社会基盤の育成。</p> <p>生きがいをもちつための機会の提供。</p>
<p>博物館講演会 2回 41名</p> <p>学芸員と学ぶ講座</p> <p>古文書講座 (月1回) 10回 60名</p> <p>柳沢遺跡と銅戈・銅鐸 (10/20) 19名</p> <p>みんなで研究コース 26回 204名</p> <p>植物観察会 月1回</p> <p>豊田の石仏を調べよう 月1回</p> <p>野鳥観察会 月1回</p> <p>学芸員お散歩講座 3回 46名</p> <p>ふるさとレポート発表会 (3/14) 18名</p> <p>ほしぞら観望会 1回 19名</p> <p>館外派遣講師講座 2回 56名</p> <p>展示会の開催 (常設)</p> <p>資料の調査、研究 随時</p> <p>資料の修復、修繕 随時</p>	<p>参加者を増やすための周知方法や開催方法を検討していきたい。</p>	<p>博物館講演会 4回</p> <p>学芸員と学ぶ講座 月1回</p> <p>フィールドで考える</p> <p>路傍の石神・石仏を探る (豊田編) 月1回</p> <p>中野市の野鳥を科学する 月1回</p> <p>身近な植物から考える中野市の自然 月1回</p> <p>学芸員サロン講座 4回</p> <p>ふるさとレポート発表会 1回</p> <p>ほしぞら観望会 4回</p> <p>展示会の開催 (常設・特別)</p> <p>館外派遣講師講座 随時</p> <p>資料の調査、研究 随時</p> <p>資料の修復、修繕 随時</p>	<p>自主的に学習し、その成果を発表できる力の養成。</p>

第二分類	施策名 (第三分類)	事業名	実施(計画)内容	新・継	対象	所管課
社会教育の充実	(3) 障がい者の学習活動の充実	障がい者在宅福祉事業	在宅障がい児(者)に対し障害者総合支援法に基づくホームヘルプサービス事業などの様々な施策により、自立支援と社会参加促進を図る。心身障害児母子通園事業(いちご学園)、心身障害者共同作業訓練事業(竹馬、たんぼぼ)を、指定管理者である社会福祉協議会で行う。	継	障がい児(者)	福祉課
社会教育の充実	(3) 障がい者の学習活動の充実	手話奉仕員養成講座事業	聴覚に障がいがある方の生活および関連する福祉制度などについて理解と認識を深めるとともに、手話で日常生活を行うために必要な手話表現技術を学ぶ	新	市民	福祉課
社会教育の充実	(3) 障がい者の学習活動の充実	施設授産事業(社会就労センター)	一般就労の困難な要保護者に対して就労の場を提供し、技能習得の支援を行い、自立助長を図る。また、障害者総合支援法のサービス事業所として、障がいにより就労機会の限られている者に、就労継続支援のサービスを提供する。	継	市民	社会就労センター
社会教育の充実	(3) 障がい者の学習活動の充実	雇用対策事業	身体障がい者の就職機会の拡大を図るため、パソコン講習会を開催する。	継	身体障がい者	商工観光課
社会教育の充実	(4) 高齢者の学習活動の充実	高齢者生きがい対策事業	老人クラブ活動助成事業 シルバー人材センター運営補助事業	継	高齢者	高齢者支援課
社会教育の充実	(4) 高齢者の学習活動の充実	高齢者等歯科保健増進事業	高齢者等歯科保健推進事業	継	高齢者	高齢者支援課
社会教育の充実	(4) 高齢者の学習活動の充実	中央生涯学習推進事業	シニア大学	継	高齢者	中央公民館
社会教育の充実	(4) 高齢者の学習活動の充実	西部生涯学習推進事業	高齢者がいつまでも住みなれた地域で交流を保ち、積極的に社会参加し、生きいきと元気に暮らせる社会を築くため、総合的に学習できる環境作りを推進する。	継	高齢者	西部公民館

令和2年度 実施状況		令和3年度 実施計画	
回数・参加人数等	現状と課題	概要	期待される効果
在宅障がい児(者)に対し障害者総合支援法に基づくホームヘルプサービス事業などの様々な施策により、自立支援と社会参加促進を図った。心身障害児母子通園事業(いちご学園)、心身障害者共同作業訓練事業(竹馬、たんぼぼ)を、指定管理者である社会福祉協議会で行った。	サービスを利用する障がい者の増加に対し、サービス提供事業所数が停滞している。	障害者総合支援法に基づく施策により、自立支援と社会参加促進を図る。「ふれあい講座」事業(中野市身体障害者福祉センター)を指定管理者である社会福祉協議会で行う。	障がい者の自立した日常生活、社会活動への参加の促進。
-	-	手話奉仕員養成講座(入門課程) R3.6月～R4.3月 25回 12人	聴覚障がい者の社会活動への参加の促進。
一般就労の困難な要保護者に対して就労の場を提供し、技能習得の支援を行い、自立助長を図った。また、障害者総合支援法のサービス事業所として、障がいにより就労機会の限られている者に、就労継続支援のサービスを提供した。(中野社会就労センター・豊田社会就労センター・豊田社会就労センター豊井分場)	受託作業の確保が厳しい状況のなかで、利用者の能力に応じた計画的就労支援が困難な面がある。	一般就労の困難な要保護者に対して就労の場を提供し、技能習得の支援を行い、自立助長を図る。また、障害者総合支援法のサービス事業所として、障がいにより就労機会の限られている者に、就労継続支援のサービスを提供する。(中野社会就労センター・豊田社会就労センター)	就労困難者の技能習得の支援。
身体障がい者の就職機会の拡大を図るため、パソコン講習会を開催した。 R2.10.1～R3.2.22 計3コース	事業内容の周知を図る。	身体障がい者の就職機会の拡大を図るため、パソコン講習会を開催する。	技術を習得することで、身体障がい者の就職機会の拡大。
老人クラブ活動助成事業 29クラブ、会員数 1,291人 シルバー人材センター運営補助事業 会員数 841人	老人クラブの新規加入者が少ないため老人クラブの高齢化が進み休部等が増加傾向にあるため、クラブ数、会員数が共に減少しているため、加入促進方法が課題となっている。	老人クラブ活動助成事業 29クラブ、会員数 1,300人 シルバー人材センター運営補助事業 会員数 860人	高齢者の能力活用や社会参加を促進。地域社会との交流や地域社会づくりの促進。
・口腔衛生教育 20回 370人	8020運動等から「歯の喪失」をはじめとする歯科疾患は以前より改善されてきているが、ごえん性肺炎、低栄養などが口腔機能の低下をもたらしているという知識の普及がまだ不十分で今後の課題である。	口腔衛生教育 14回 165人	口腔状態の改善による心身の健康の保持増進。
新型コロナウイルス感染防止のため中止		シニア大学(講座・クラブ活動) 開催未定	学習の場、育成の場、交友の場を提供。
シニア大学 中止 ※新型コロナウイルス感染防止のため中止 はじめてのスマホ活用教室 5回 参加延べ人数 43人 サイズアップ野菜づくり講座 2回 参加延べ人数 42人	今年度は高齢者の方を大勢の参加する講座は辞めましたが、少人数での参加型の講座を開講しました。	シニア世代向け講座 5回	高齢者が地域で生きがいを持ち続けることによる健康の維持増進。

第二分類	施策名 (第三分類)	事業名	実施(計画)内容	新・継	対象	所管課
社会教育の充実	(4) 高齢者の学習活動の充実	豊田生涯学習推進事業	高齢者学級 高齢者の心身の健康維持や教養のための講座を開催する。	継	市民	豊田公民館
職業能力の向上	(1) 職業教育の充実	新規就農者支援事業	新たな農業の担い手を確保育成し、地域農業の振興を図るため、新規就農者(新規後継者、先進農業技術研修者及び新規参入者)の研修、営農に対して、補助金を交付する。	継	新規就農者	農業振興課
職業能力の向上	(2) 職業能力形成機会の充実	雇用対策事業	人材育成事業、新規就職者激励事業、職業相談事業を行い、雇用の安定、職場定着を図る。北信州能力開発センターへの助成を行い、地域産業を担う人材育成と人づくりを進めるため職業能力開発事業を推進する。	継	市民	商工観光課
職業能力の向上	(3) 地域産業の育成	農業経営改善支援活動事業	認定農業者通信の発行 経営ソフト及びパソコン機器の購入(経営ソフトと同時購入に限る)に対して補助金を交付する。	継	経営農家	農業振興課
職業能力の向上	(3) 地域産業の育成	農業経営技術奨励賞事業	農業振興を図るため、農業経営の内容が特に優れ地域農業の模範になった者、農業振興のため特に奨励に値する研究等を行った者を表彰する。	継	農業者	農業振興課
職業能力の向上	(3) 地域産業の育成	商工業振興事業	商工業者に対する経営相談や指導を強化し、新技術・新製品の開発、イベント、特許・実用新案取得支援や講習会を開催し、商工業の振興を図る。また、中小企業者の取り引き先の拡大を図るため、中小企業者等が市外の展示会等へ出展した際に要した経費の一部を補助する。	継	市内中小企業	商工観光課

令和2年度 実施状況		令和3年度 実施計画	
回数・参加人数等	現状と課題	概要	期待される効果
高齢者学級 音楽で脳がイキイキ！ 3回 延べ人数 48人	心身の健康維持を図る事業として定着し、継続している。	高齢者学級 3回	高齢者の教養、健康増進及び生きがいがづくりの推進。 高齢者の持つ経験や知識の反映。
新規就農者支援事業 12人	補助対象者の把握が難しい。	親元で農業を始める者及び農業研修を受ける親元就農者に対し補助金を交付する。 市内で新たに農業を始める者及び居住し農業を始める者に対して農業機械購入費や取得費等の補助金を交付する。	新規就農意欲の向上。
人材育成事業、職業相談事業を行い、雇用の安定、職場定着を図った。 北信州能力開発センターへの助成を行い、地域産業を担う人材育成と人づくりを進めるため職業能力開発事業を推進した。 職業相談室利用者(求職者) 552人 女性のための就職支援 (受講者) 18人	より有効的な事業内容を検討する。	人材育成事業、職業相談事業を行い、雇用の安定、職場定着を図る。 北信州能力開発センターへの助成を行い、地域産業を担う人材育成と人づくりを進めるため職業能力開発事業を推進する。	地元企業に新たに就職した若者の職業意識の高揚と職場定着。 求職者に沿った求人や最新情報の提供。 地域産業を担う人材育成と人づくりを通し、活力ある地域づくりの推進。
認定農業者通信の発行 年1回 経営ソフトの購入 2人	受講希望者の減少	認定農業者通信の発行 経営ソフト及びパソコン機器の購入 (経営ソフトと同時購入に限る) に対して補助金を交付する。	農業経営者の経営向上。
受賞者 個人2名	受賞者の該当が無い年もあるため表彰対象者の発掘に努めている。	農業振興を図るため、農業経営の内容が特に優れ地域農業の模範になった者、農業振興のため特に奨励に値する研究等を行った者を表彰する。	農業者の経営意識の向上による農業振興。
新技術・新製品開発事業補助 0件 特許等取得支援事業補助 1件 展示会等出展事業補助 0件	事業内容の周知を図る。	商工業者に対する経営相談や指導を強化し、新技術・新製品の開発、イベント、特許・実用新案取得支援や人材育成に係る研修費の助成を行い、商工業の振興を図る。また、中小企業者の取り引き先の拡大を図るため、中小企業者等が市外の展示会等へ出展した際に要した経費の一部を補助する。	中小企業の新技術・新製品開発の促進、特許等取得の促進、人材育成、販路拡大。

多様な学習活動の推進

第二分類	施策名 (第三分類)	事業名	実施(計画)内容	新・継	対象	所管課
健康長寿のま ちの推進	(1) 健康づく りの推進	健康づくり推 進事業	健康づくりフェスティバル 健康づくりポイント推進事業 広報活動事業 食生活改善地区組織活動事業 栄養改善事業 歩く健康づくりモデルコース整備事業 減塩運動普及事業 歩いて健康づくりプロジェクト	継	市民	健康 づくり課
健康長寿のま ちの推進	(1) 健康づく りの推進	母子保健推 進事業	母子保健相談指導事業 2ヶ月児訪問 3ヶ月健診 7ヶ月健診 1歳6ヶ月児健診 2歳児健診 3歳児健診 乳幼児保健相談 妊婦・乳児一般健康診査事業 母子栄養健康づくり事業 新生児訪問 マタニティクラス 育児教室 不妊治療補助事業 産後ケア事業 産後ダイケア事業 むし歯ゼロ事業 歯科保健指導事業 フッ素洗口事業 子育て相談事業 北信圏域発達障害児等親子療育事業 不育症治療補助事業 妊婦歯科健康診査事業	継	保護者 子ども	健康 づくり課

令和2年度 実施状況		令和3年度 実施計画	
回数・参加人数等	現状と課題	概要	期待される効果
健康づくりフェスティバル 新型コロナウイルスのため中止 健康まつり事業 新型コロナウイルスのため全地区 中止 広報活動事業 健康・福祉カレンダー全戸配布 広報なかの「健康ひろば」 掲載3回 食生活改善地区組織活動事業 67回 924人 栄養改善事業 265回 265人 歩く健康づくりモデルコース整備事業 コースの再検討、点検 減塩運動普及事業 一回尿 263人 補導員 272人 健康づくりポイント推進事業 特典交付者 167人	より多くの市民の方に各 種イベント等へ参加して いただくためのPRが足 りない。	健康づくりフェスティバル 健康コーナー 講演会 広報活動事業 健康・福祉カレンダー全戸配布 広報なかの「健康ひろば」 掲載3回 食生活改善地区組織活動事業 80回 1,200人 栄養改善事業 300回 300人 歩く健康づくりモデルコース整備事業 コースの再検討、点検 減塩運動普及事業 一回尿 280人 補導員 280人 健康づくりポイント事業 500人 歩いて健康づくりプロジェクト100人	市民の健康づくりの実 践、意識の高揚。
母子保健相談事業 2ヶ月児訪問 233人 3ヶ月健診 11回 265人 7ヶ月健診 11回 265人 1歳6ヶ月児健診 11回 278人 2歳児健診 9回 238人 3歳児健診 11回 334人 乳幼児保健相談 17回延 86人 妊婦・乳児一般健診 妊娠初期～妊娠23週(4回) 962回 妊娠24週～妊娠35週(6回) 1,460回 妊娠36週～分娩(4回) 663回 追加検査① 249回 追加検査②(2回) 453回 追加検査③ 254回 追加検査④ 237回 超音波検査(4回) 975回 乳児 256人 産婦健康診査(2回) 473回 新生児訪問 11人 マタニティクラス 8回 延84人 育児教室 14回 延81組 不妊治療補助 34組 産後ケア 10人27日 産後デイケア 5人12日 不育症治療補助 2組 むし歯ゼロ事業 歯っぴー親子むし歯予防教室 8回 63組 むし歯になりにくいおやつ教室 9回 50組 歯科保健指導事業 認定こども園児 54人 保育園児 259人 小学生 2,164人 中学生 337人 フッ化物洗口事業 認定こども園児 50人 保育園児 259人 幼稚園児 30人 小中学生 3,337人 北信圏域発達障がい児等親子療育教室 24回延115組 妊婦歯科健康診査事業 64人	現状を維持しながら、多 様化する健康ニーズに対 応できるよう内容の充実 を図る。	母子保健相談事業 2ヶ月児訪問 250人 3ヶ月健診 12回 300人 7ヶ月健診 12回 300人 1歳6ヶ月児健診 12回 340人 2歳児健診 12回 270人 3歳児健診 12回 340人 乳幼児保健相談 22回 180人 妊婦・乳児一般健診 妊娠初期～妊娠23週(4回) 1,000回 妊娠24週～妊娠35週(6回) 1,500回 妊娠36週～分娩(4回) 700回 追加検査① 300回 追加検査②(2回) 500回 追加検査③ 300回 追加検査④ 280回 超音波検査(4回) 1,000回 乳児 300人 産婦健康診査(2回) 550回 新生児訪問 20人 マタニティクラス 12回 延120人 育児教室 20回 延150組 不妊治療補助 45組 産後ケア 15人30日 産後デイケア 8人15日 不育症治療補助 5組 むし歯ゼロ事業 歯っぴー親子むし歯予防教室 12回 80組 むし歯になりにくいおやつ教室 12回 80組 歯科保健指導事業 認定こども園児 176人 保育園児 301人 小学生 2,713人 中学生 336人 フッ化物洗口事業 認定こども園児 46人 保育園児 244人 幼稚園児 34人 小中学生 3,314人 北信圏域発達障がい児等親子療育教室 33回 延180組 妊婦歯科健康診査事業 70人	あらゆる母子保健事業を 通じた健康に関する学習 の機会提供。

第二分類	施策名 (第三分類)	事業名	実施(計画)内容	新・継	対象	所管課
健康長寿のまちの推進	(1) 健康づくりの推進	健康教育相談事業	生活習慣病の予防、健康増進等、健康に関する正しい知識の普及を図った。心身の健康に関すること、家庭における健康管理について個別の相談に応じ健康の保持増進を図る。	継	学校 市民	健康 づくり課
健康長寿のまちの推進	(1) 健康づくりの推進	一般介護予防事業	介護予防普及啓発事業	継	高齢者	高齢者 支援課
健康長寿のまちの推進	(1) 健康づくりの推進	一般介護予防事業	介護予防普及啓発事業	継	高齢者	高齢者 支援課
スポーツ活動の振興	(1) スポーツ・レクリエーションの振興	社会体育振興事業	各種スポーツ教室、大会等を開催し、「市民みなスポーツ」を合言葉に健康で活力あるまちづくりを進める。	継	市民	文化スポーツ 振興課
スポーツ活動の振興	(1) スポーツ・レクリエーションの振興	社会体育団体等育成事業	スポーツ人口の底辺の拡大及び競技力向上のため、スポーツ専任コーチ等による各種団体の育成強化を図る。	継	市民	文化スポーツ 振興課
スポーツ活動の振興	(1) スポーツ・レクリエーションの振興	指導者育成事業	生涯スポーツの振興や定着のため、特に指導者の養成や活用を図り、各種大会等を実施する。	継	市民	文化スポーツ 振興課

令和2年度 実施状況			令和3年度 実施計画			
回数・参加人数等		現状と課題	概要		期待される効果	
集団健康教育 102回 3,569人 健康相談 1377回 1,377人 心の健康相談 11回 20人 栄養教育 24回 393人 歯科相談 164回 164人 歯科教育 6回 142人		健康相談について、市民への周知が足りないためか、相談者が少ない。	集団健康教育 180回 4,100人 健康相談 1500回 1,500人 心の健康相談 12回 24人 栄養教育 25回 400人 歯科相談 200回 200人 歯科教育 8回 150人		生活習慣病の予防や健康管理に関する知識の普及。	
ひざ腰らくらく教室 48回 わかがえり教室 48回 さんさん講座 20回 介護予防講座 2回 口腔機能向上教育 19回 栄養改善事業 36回 生涯現役！ステップアップ教室 12回 熟年男の部活動～運動の時間ですよ～ 12回		地域全体で介護予防に関する知識を共有し、高齢者自ら自主的な介護予防への取組ができる	ひざ腰らくらく教室 48回 わかがえり教室 36回 さんさん講座 20回 介護予防教室 10回 口腔機能向上教育 22回 栄養改善事業 35回 生涯現役！ステップアップ教室 12回 熟年男の部活動～運動の時間ですよ～ 12回 フル！フル！介護予防講師養成教室 12回			
認知症サポーター養成講座 13回 認知症講演会 1回		認知症に対する理解を深め、互いに支えあえる地域づくりができる。	認知症サポーター養成講座 15回 認知症講演会 1回		認知症に対する理解を深め、互いに支えあえる地域づくり。	
スポーツ教室 ノルディックウォーキング 10回 初心者硬式テニス 8回 弓道 0回 市主催大会 小中学生ロードレース大会 スポーツ推進委員企画事業 ノルディックダンス ふるさとトレッキング トップアスリート育成プロジェクト 自宅でできるトレーニング動画 ～ダンス&ヨガ編、SPORTS編～ スポーツ栄養学 1回 ランニング教室 4回 スキー技術向上講習 1回		綱引き大会は廃止。少年野球ナイター交流大会は運営移管した。	スポーツ教室 ノルディックウォーキング 10回 初心者硬式テニス 8回 弓道 10回 市主催大会 市内高校野球大会 ビーチボールバレー大会 ソフトバレーボール大会 新春走り初め大会 小中学生ロードレース大会 スポーツ推進委員企画事業 ノルディックダンス 野球体験イベント ふるさとトレッキング 信州なかのPK合戦 トップアスリート育成プロジェクト 川内優輝講演会		スポーツ人口の拡大。健康づくりを促進。	
3団体 県縦断駅伝中野下高井チームを強くする会 高社小スキークラブ NDF・Jr. ランニングアカデミー		効果がわかりにくい。申請要件などの見直しが必要。	スポーツ専任コーチ補助金交付事業を継続実施する。		県・国レベルで活躍できる選手や団体の育成。スポーツ人口の拡大。	
スポーツ推進委員会 1回 スポーツ推進委員の各種大会等参加 ノルディックダンス ふるさとトレッキング ニュースポーツ教室		さらなる自発的な活動を期待したい。	スポーツ推進委員会 6回 スポーツ推進委員の各種大会等参加 ノルディックダンス 野球体験イベント ふるさとトレッキング 信州なかのPK合戦 市民水泳大会 ビーチボールバレー大会 新春走り初め大会 ソフトバレーボール大会 障がい者スポーツ教室 ニュースポーツ教室		指導者の養成。健康づくりの促進。	

第二分類	施策名 (第三分類)	事業名	実施(計画)内容	新・継	対象	所管課
スポーツ活動の振興	(2) スポーツ施設の活用	体育館施設管理運営事業	体育施設の適正な維持管理を図り、利用者の利便性を高める。	継	市民	文化スポーツ振興課
文化芸術活動の振興	(1) 文化芸術活動の推進	中山晋平記念音楽賞作曲募集及び優秀賞入選曲発表会の開催	長野県内および姉妹都市の小中高等学校の学生を対象とした作曲募集及び優秀賞入選曲の発表会を実施し、次世代に音楽文化を継承する。	継	長野県内及び姉妹都市の小中高等学校の学生	文化スポーツ振興課
文化芸術活動の振興	(1) 文化芸術活動の推進	信州なかの音楽祭	5か年計画終了のため開催しない。	-	市民	文化スポーツ振興課
文化芸術活動の振興	(1) 文化芸術活動の推進	中野市民音楽祭	市内音楽団体活動者に発表の機会を提供し、市民が鑑賞することで音楽活動人口の拡大と市民の音楽活動に対する関心を高める。	継	市民	文化スポーツ振興課
文化芸術活動の振興	(1) 文化芸術活動の推進	ときめき手づくりコンサート補助金	音楽を親しむ環境の促進を目的として、市内で音楽コンサートを企画・運営するグループに予算の範囲内で補助金を交付する。	継	音楽コンサートを企画・運営する団体	文化スポーツ振興課
文化芸術活動の振興	(1) 文化芸術活動の推進	文化芸術事業補助金	文化芸術に親しむ環境作りの促進を図るため、文化芸術に関する自発的な取り組みを行う団体に対し、予算の範囲内で補助金を交付する。	継	文化芸術に関する講習会又は講演会を企画運営する団体	文化スポーツ振興課
文化芸術活動の振興	(1) 文化芸術活動の推進	歴珉展の開催	市民に発表の機会を提供し、市民が鑑賞することで、文化芸術活動人口の拡大と市民の文化芸術活動への関心を高める。	継	市民	文化スポーツ振興課
文化芸術活動の振興	(1) 文化芸術活動の推進	信州なかの文化芸術祭	市民会館のリノベーションにあたり、文化芸術活動が停滞しないよう音楽、芸能、絵画等の文化芸術事業を実施するとともに、生まれかわる市民会館において、これまでの貸館機能だけでなく、文化芸術の拠点となる事業を企画・運営する。	新	市民	文化スポーツ振興課

令和2年度 実施状況		令和3年度 実施計画	
回数・参加人数等	現状と課題	概要	期待される効果
体育施設の適正な維持管理を図り、利用者の利便性を高めた。	施設が老朽化して、維持管理経費が増加している。	利用者の利便性を高めるため、指定管理者制度を導入し、体育施設の適正な維持管理を図る。	指定管理者制度の導入により、体育施設の効率的な維持管理及び運営。
応募曲数 135曲（優秀賞6曲） 優秀賞入選曲発表会 入場者数 120人	学校の教育指導要領の変遷に伴い、授業内での対応が難しくなっており、応募数に影響が出ている。	第58回中山晋平記念音楽賞優秀賞入選曲発表会	作曲を学ぶ機会及び発表の場の提供。 上質な音楽に触れることによる音楽文化の向上。
信州なかの音楽祭2020 令和2年10月27日～令和3年3月14日 計6事業 新型コロナウイルス感染症の拡大により、集客事業は限られ、リモートでの合唱や、録画でのコンサートを中心に開催した。	コロナ禍のなか、どのような形で音楽振興を絶やさないようにするかが課題だった。	5か年計画終了のため開催しない。	令和3年度から、信州なかの文化芸術祭の音楽部門として活動。
新型コロナウイルス感染症の拡大のため、令和2年度は中止。	コロナ禍の中、どのような形で開催してくかが課題。	未定	発表の場、鑑賞する機会の提供。市民の音楽活動への関心の向上。
補助金交付団体 4団体	事業の認知が低い。 （広報・HPにて周知は行っている。）	補助金交付予定団体 10団体	音楽を楽しむ環境の充実。
補助金交付団体 0団体	事業の認知が低い。 （広報・HPにて周知は行っている。）	補助金交付予定団体 4団体	文化芸術に親しむ環境の充実。
第39回礫珉展の開催 10月22日～11月8日 来場者数 571人 一般公募作品 16点 峯樹会会員作品 28点 審査員長作品 1点 寺澤宏三郎遺作作品 3点 合計 48点	若手作家の応募及び峯樹会への加入が少ない。	第40回記念礫珉展の開催 10月中旬～11月上旬を予定	発表の場の提供。市民の芸術文化への関心向上。
		市民会館閉館コンサートの実施 市民音楽祭の継続及び信州なかの音楽祭を継承した事業の実施	音楽だけではなく、芸能、絵画等を含めた文化芸術事業を推進し、「文化の香るまち」の実現につながる。

第二分類	施策名 (第三分類)	事業名	実施(計画)内容	新・継	対象	所管課
文化芸術活動の振興	(2) 文化施設の活用	中山晋平記念館運営事業	音楽の交流の場として晋平メロディーを中心に歌い継ぎ、中山晋平の偉業や作品を知ってもらう。	継	市民	中山晋平記念館
文化芸術活動の振興	(2) 文化施設の活用	高野辰之に関する資料の展示及び高野辰之作詞の文部省唱歌を歌い、語り継ぐイベントを開催する	高野辰之に関する資料の展示及び高野辰之作詞の文部省唱歌を歌い、語り継ぐイベントを開催する	継	市民	高野辰之記念館
文化芸術活動の振興	(3) 文化財の保存と活用	文化財保護・保存管理事業 指定文化財候補調査	文化財を保護・保存し、永く後世に伝えるための事業を実施する。	継	市民	生涯学習課
文化芸術活動の振興	(3) 文化財の保存と活用	埋蔵文化財発掘調査事業	市内の遺跡の実態を把握し、必要な場合には記録保存のための発掘調査を行い、出土品の保存と活用を図る。	継	市民	生涯学習課
文化芸術活動の振興	(3) 文化財の保存と活用	高遠山古墳保存整備事業	県史跡「高遠山古墳」の保存と活用を図る。	継	市民	生涯学習課
交流活動の推進	(1) 都市間交流の推進	都市間交流事業	姉妹都市、音楽姉妹都市、友好都市との交流	継	市民	商工観光課
交流活動の推進	(2) 国際交流の推進	国際化・国際交流推進事業	外国語を母国語とする市民を対象に、県発行の母国語情報誌(英語、中国語、ポルトガル語、韓国語、タイ語、タガログ語)を配置し、情報提供を行う。	継	市民	商工観光課

令和2年度 実施状況		令和3年度 実施計画	
回数・参加人数等	現状と課題	概要	期待される効果
グリーンコンサート 中止 (※) サマーコンサート 中止 (※) 中山晋平記念館まつり 中止 (※) クリスマスコンサート 収録 (※) 記念館童謡唱歌を楽しむ会 1月13日、20日、29日 計31人 2月10日、17日、24日 計60人 お家でホッとコンサート 収録 (※) スプリングコンサート 38人 ※コロナウイルス感染拡大防止のため	コロナウイルス感染症拡大防止の為、休館及びイベントの中止。人数制限のため来館者人数は減少。	グリーンコンサートの開催 5月30日 サマーコンサートの開催 7月11日 オータムコンサートの開催 10月9日 クリスマスコンサートの開催 12月5日 親子で楽しむ童謡・唱歌 12月12日・19日 冬期限定「記念館うたう会」 1月・2月 スプリングコンサート 3月	作曲家中山晋平の功績の周知。 音楽文化の振興。
「故郷のふるさと音楽会」の開催 4月26日(日) 「サマーコンサート」の開催 8月23日(日) 高野辰之記念会特別展・講演会の開催 4月10日(金)～12日(日) ※上記イベントは新型コロナウイルス感染拡大のため全て中止	・冬季間は入館者が少なく、来館者の確保が課題である。	・「故郷」のふるさと音楽会の開催 7月25日 ・サマーコンサートの開催 8月22日 ・高野辰之記念会特別展・講演会の開催	“ふるさと”の情景への憧れを喚起し、高野辰之博士の功績の周知。 文化芸術の振興。 「故郷のふるさと」、の自然、環境、風土、歴史と絡めた市外へのPR
・ボランティアグループ「十三崖 チョウゲンボウ応援団」の支援 ・地域資料・文化財の調査 ・中野市文化財保護審議会の開催 ・指定文化財の啓発、活用	文化財が市民の学習等に活用されている例が少ないため、啓発を行うことで文化財への関心を高める必要がある。	・十三崖チョウゲンボウ探鳥会の開催 ・ボランティアグループ「十三崖 チョウゲンボウ応援団」の支援 ・地域資料・文化財の調査 ・(仮称)山田家資料館周辺の調査 ・中野市文化財保護審議会の開催 ・指定文化財の啓発、活用	文化遺産の継承。 市民の文化財に対する関心の向上。 身近な地域歴史の解明。
・開発行為等に伴う試掘の実施1件 ・柳沢遺跡範囲確認のための試掘調査の実施1件 ・京塚古墳出土品の保存処理	埋蔵文化財に対する市民の関心が低いため、関心を持ってもらうような啓発等が必要である。	・遺跡の実態把握のための試掘確認調査の実施(南大原遺跡ほか) ・H3年に調査した京塚古墳の出土品の保存処理	調査結果が地域の古代史等研究の貴重な資料となる。
・高遠山古墳保存整備工事の実施	高遠山古墳に対する市民の関心が低いため、関心を持ってもらうような啓発等が必要である。	・高遠山古墳保存整備工事の実施 ・活用方法の検討	古墳時代の研究の進展。
学校新聞特派員事業 派遣・受入れ 中止 都市交流イベント等も中止 都市間市民交流推進事業への補助 0件 ※新型コロナウイルス感染防止のため	市民レベルでの都市間交流について、交流団体が限定的である。 より多くの団体による都市間交流の推進が必要である。	都市間市民交流推進事業への補助 3事業	都市間交流の推進。
母国語情報誌の配置 (市役所市民ラウンジ)	母国語情報誌の活用が課題である。	母国語情報誌の配置 (市役所市民ラウンジ)	多言語での情報提供により、困りごとの解消等。

第二分類	施策名 (第三分類)	事業名	実施(計画)内容	新・継	対象	所管課
交流活動の推進	(2) 国際交流の推進	国際化・国際交流推進事業	市内団体が行う市民と在住外国人等の国際交流推進事業等の一部を補助する。	継	市民	商工観光課
交流活動の推進	(2) 国際交流の推進	中央生涯学習推進事業	国際交流事業	継	市民	中央公民館
人権が尊重される社会の推進	(1) 人権意識の高揚	人権教育推進事業	市あらゆる差別をなくす推進協議会・市企業人権教育推進協議会へ助成し、あらゆる差別解消のため、研修会、講演会を実施し、人権教育の推進を図る。	継	市民	人権・男女共同参画課
人権が尊重される社会の推進	(1) 人権意識の高揚	人権啓発交流事業	各種講座の開催	継	市民	人権・男女共同参画課
人権が尊重される社会の推進	(1) 人権意識の高揚	社会人権教育推進事業	人権教育懇談会の開催 人権教育講座の開催	継	市民	人権・男女共同参画課
人権が尊重される社会の推進	(1) 人権意識の高揚	在住外国人相談事業	在住外国人の生活上の各種相談や交流の場を提供して在住外国人の人権擁護を図る。	継	市民	人権・男女共同参画課
人権が尊重される社会の推進	(2) 人権教育の推進	人権擁護啓発事業	差別をなくす市民集会を開催する。 差別をなくす講演会を開催する。 人権センターまつりを開催する。	継	市民	人権・男女共同参画課
人権が尊重される社会の推進	(2) 人権教育の推進	学校人権教育推進事業	学校等における人権教育を推進するため担当者会等を開催する。人権に関する意識を啓発するため作文・ポスター等の募集をする。	継	教職員等 児童・生徒	学校教育課
男女共同参画社会の推進	(1) 男女共同参画のための意識づくり	男女共同参画社会づくり事業	男女共同参画推進条例及び男女共同参画計画に基づき、男女のエンパワメント(自立)への支援、男女平等の意識啓発のため、学習機会や情報の提供を行う。	継	市民	人権・男女共同参画課
男女共同参画社会の推進	(1) 男女共同参画のための意識づくり	農村女性活動推進事業	啓発活動や地域活動への支援を通じ、農村女性の地位向上や社会参加を推進する。	継	農業に携わる女性	農業振興課

令和2年度 実施状況		令和3年度 実施計画	
回数・参加人数等	現状と課題	概要	期待される効果
国際交流推進事業への補助 0団体	団体の事業活動の拡大が図られていない。	国際交流推進事業への補助 1団体	異文化に対する理解の深化。 住民相互の親睦。
※新型コロナウイルス感染防止のため中止		国際交流事業2回	住民相互の親睦。 国際交流の進展。
市あらゆる差別をなくす推進協議会・市企業人権教育推進協議会へ助成し、あらゆる差別解消のため、研修会、講演会を実施し、人権教育の推進を図った。	人権問題の多様化・複雑化に伴い、会の活性化が求められている。	市あらゆる差別をなくす推進協議会・市企業人権教育推進協議会へ助成し、あらゆる差別解消のため、研修会、講演会を実施し、人権教育の推進を図る。	会員及び市民の更なる人権意識の高揚。
各種講座 中野 66回 810人 豊田 34回 460人 32回 350人	高齢化等に伴う参加者の減	各種講座の開催	地域住民の交流。 人権課題への理解や知識及び能力の向上。
人権教育懇談会 41区41回 参加人数1,655人 中野 33区33回 1,535人 豊田 8区 8回 120人	全区での開催に努める。	人権教育懇談会の開催	住民の様々な人権問題に対する意識の向上を図れる。
在住外国人の生活上の各種相談や交流の場を提供して在住外国人の人権擁護を図った。	相談実績は無かった。	在住外国人の生活上の各種相談や交流の場を提供して在住外国人の人権擁護を図る。	在住外国人の生活の安定。
・差別をなくす市民集会 ・差別をなくす講演会 ・人権センターまつり ・人権のつどい ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、すべて中止	人権問題の多様化・複雑化に伴い、集会・大会の活性化が求められている。	差別をなくす市民集会を開催する。 差別をなくす講演会を開催する。 人権センターまつりを開催する。	市民の更なる人権意識の高揚。
あらゆる差別をなくす推進協議会学校教育部会・学校人権担当者会合同会議年1回開催 人権に関するポスター 応募者 753人 入選者36人 人権に関する作文 応募者2,572人 入選者44人	児童・生徒において、更なる人権意識の高揚を図っていく必要がある。	あらゆる差別をなくす推進協議会学校教育部会・学校人権担当者会合同会議年2回開催 あらゆる差別をなくす推進協議会学校教育部会・学校人権担当者会合同研修会 年1回開催 中学校区ブロックごとに研修会を開催する。	学校等における人権意識の高揚及びあらゆる差別の解消。
共にいきいき市民のつどい ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止 ・男女共同参画推進出前講座 1回 12名 ・男女共同参画セミナー 4回 77名 ・情報紙「交差点」の発行 年3回	・長い歴史や習慣のなかで形づくられた性別による差別は依然存在している。今後も、性別にかかわらずお互いのいき方を尊重しあい、個性豊かに生きられる社会をめざした意識改革が必要である。	男女共同参画推進出前講座 男女共同参画セミナー 情報紙「交差点」の発行 年3回	固定的な性別役割分担意識の解消。男女が平等な立場で能力や個性を發揮できる環境整備。
北信州農村女性のつどいへの参加 ※新型コロナウイルス感染防止のため	令和2年度つどいは、新型コロナウイルス感染症の影響により、延期	啓発活動や地域活動への支援を通じ、農村女性の地位向上や社会参加を推進する。	農村の活性化。

第二分類	施策名 (第三分類)	事業名	実施(計画)内容	新・継	対象	所管課
男女共同参画 社会の推進	(3) 男女が平等に 支え合う自立した生活 づくり	女性相談事業	DVを始め、女性が抱える様々な悩みの相談を受け、共に解決への道を探す。	継	女性	福祉課
平和教育の推進	(1) 平和意識の育成	非核平和啓発・戦争資料写真展	戦争の悲惨さや核兵器の恐ろしさを認識していただき、平和の大切さについての一層の理解を深めていただくため、非核平和啓発・戦争資料写真展を行う。	継	市民	庶務課
平和教育の推進	(1) 平和意識の育成	平和啓発事業	原爆死没者等のめい福と世界恒久平和の実現を祈念するため、原爆投下の日及び戦没者を追悼し平和を祈念する日に、防災行政無線の放送により黙とうを捧げる。	継	市民	庶務課
平和教育の推進	(2) 平和教育の推進	中学生被爆地派遣事業	中学生被爆地派遣	継	学校	学校教育課
ボランティア活動の促進	(1) 社会参加活動への意識の高揚	生涯学習のまちづくり推進事業	ボランティア活動に関する情報の提供をおこない、市民意識の高揚を図る。	継	市民	生涯学習課
ボランティア活動の促進	(2) ボランティア活動への支援	花のまちづくり推進事業	市民ボランティア等が参加し、花を活用した潤いあるまちづくりを推進する。 花づくりコンテストを開催し、市民の花づくりを支援する。	継	市民	都市計画課
快適な地域づくりの推進	(1) 地域づくりの推進	地域活性化推進事業	市民の「地域づくり」意識の高揚を図るため、協働のまちづくりを推進するとともに、コミュニティ事業の一部を補助する。	継	市民	政策情報課
快適な地域づくりの推進	(2) 安全な生活の確保	防災事業	地震、台風、洪水等の災害から、住民の生命、財産を守るため次の事業を行う。 (1) 防災訓練の実施 (2) 防災マップづくり (3) マイ・タイムライン(風水害用)の作成周知 (4) 自主防災組織の育成・啓発活動	継	市民	危機管理課
快適な地域づくりの推進	(2) 安全な生活の確保	交通安全教育関係事業	安全で快適な交通社会を築くため、市民総ぐるみの交通安全運動を展開するため、次の事業を行うとともに、中高交通安全協会に対し補助を行い交通安全に努める。 (1) 高齢者交通安全実践促進事業 (2) 高齢者地域交通安全塾の開催 (3) 自転車教室の開催 (4) 季別の交通安全運動等の実施	継	市民	市民課

令和2年度 実施状況		令和3年度 実施計画	
回数・参加人数等	現状と課題	概要	期待される効果
DVをはじめ、女性が抱える様々な悩みの相談を受け、共に解決への道を探した。 相談件数 204件	ひとりて悩んでいる女性に対し相談窓口を明確にし、救済の道があることを周知する必要がある。	DVはじめ離婚や女性の心の悩みを受けとめ、共に解決への道を探して、希望を持てるような相談にしていきたい。	女性相談の窓口を明確にすることで、一人でも多くの女性が安心安全に暮らせる。
8月6日から8月14日まで市役所2階サロンホールで開催	令和元年まで市内小学生よりポスターの作成依頼・募のうえ、応募作品の展示を実施していたが、児童・学校への負担が課題となっていたため、令和2年より事業内容を見直した。	8/2～8/11まで市役所2階サロンホールにて開催予定	
8月6日、9日、15日に防災行政無線の放送により、1分間の黙とうを捧げた。	特になし	8月6日、9日、15日に防災行政無線の放送により、1分間の黙とうを捧げる。	犠牲者のめい福と世界の恒久平和を祈念することによる平和意識の育成。
新型コロナウイルス感染状況を考慮し、参加を取りやめた。		新型コロナウイルス感染状況を考慮し、参加を取りやめた。	
生涯学習情報（冊子）及びホームページでの情報提供	情報収集・発行が3ヶ月に一度のため、短期的な情報の提供が困難である。	生涯学習情報（冊子）及びホームページでの情報提供	生涯学習への意識向上。
市民ボランティア等へ花苗・バラ苗の支給を行った。 107団体 48,025株 なかの花づくりコンテストを開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響のため中止とした。	支給した花苗の植栽は可能だが、維持管理が困難な団体がある。	市民ボランティア等の参加を支援し、花を活かした潤いあるまちづくりを推進する。 花づくりコンテストを開催し、市民の花づくり意識の向上を促進する。	花についての学習、地域住民の親睦の推進。
自治区等コミュニティ団体への助成 3団体 中野のチカラ応援事業補助金の交付 6団体	少子高齢化、人口減少、国・地方の厳しい財政状況により、地域コミュニティの機能が低下し地域における連帯意識が希薄化しつつある。	自治区等コミュニティ団体への助成 4団体 中野のチカラ応援事業補助金の交付 8団体	地域社会の活性化、自立。 地域コミュニティの再生。
(1) 土砂災害防災訓練 3区(合同) 参加者35名 防災フェア 中止 (2) 防災マップ(素案)作成 3区 (3) 防災フェアの代わりとして、マイ・タイムライン講習会を開催 4回 (4) 自主防災組織の設立に向けた啓発 防災訓練での啓発 3区 まなびい塾での啓発 3区 区役員等への啓発 3区	令和元年東日本台風(台風第19号)を受け、これまでに以上に住民の防災意識の高揚と地域防災力の向上に資する取り組みが必要である。	(1) 土砂災害防災訓練 2区 防災フェア (2) 防災マップ作成 2区 (3) マイ・タイムラインの周知 作成指導 3区 (4) 自主防災組織の設立に向けた啓発 防災訓練での啓発 2区 まなびい塾での啓発 4区 区役員等への啓発 3区 自主防災組織の設立 10区	・災害時における適切かつ迅速な初動対応 ・住民の防災意識の高揚と地域防災力の向上
(1) 高齢者交通安全実践促進事業 参加者：老人クラブ会員、交通指導員、中野広域シルバー人材センターほか 2回53名 (2) 高齢者地域安全塾の開催 回数：0回 参加者：0名 ※新型コロナウイルス感染防止のため (3) 小学校自転車教室の開催 参加者：市内小学校児童 (4) 季別の交通安全運動の実施 回数：4回	(2)については、老人クラブ等の団体が対象であるため、団体への加入がない方にも方法を変えて、啓発する必要がある。	安全で快適な交通社会を築くため、次の事業を行うとともに、中高交通安全協会と連携し、交通安全に努める。 (1) 高齢者交通安全実践促進事業 (2) 高齢者地域安全塾の開催 (3) 自転車教室の開催 (4) 季別の交通安全運動等の実施	交通事故発生件数及び交通事故による被害者の減少。

第二分類	施策名 (第三分類)	事業名	実施(計画)内容	新・継	対象	所管課
快適な地域づくりの推進	(2) 安全な生活の確保	県民交通災害関係事業	万一の交通事故に備えて、乳幼児・児童・生徒の会費を市費負担するとともに、市民の交通災害共済の加入促進を図る。	継	市民	市民課
快適な地域づくりの推進	(2) 安全な生活の確保	防犯事業	防犯灯設置事業に対し、経費の一部を補助するとともに、市防犯協会に対し補助を行い、防犯に努める。	継	市民	市民課
快適な地域づくりの推進	(2) 安全な生活の確保	消費生活対策事務	消費生活の保護を図るため、相談、啓発事業を促進する。	継	市民	消費生活センター
快適な地域づくりの推進	(2) 安全な生活の確保	消防団啓発事業	市民一人一人の火災予防思想の一層の普及を図ることにより、火災の発生を防止するため、予防広報活動を実施する。	継	団員	消防課
快適な地域づくりの推進	(2) 安全な生活の確保	消防団各種訓練事業	災害に対応できる技術を習得するために研修、訓練等を行い併せて災害時の危険防止のために、被服及び装備等の整備を行う。	継	団員	消防課
快適な地域づくりの推進	(2) 安全な生活の確保	水防対策事業	出水期に備えた水防訓練を実施し、水防工法の知識及び技術を習得するとともに、資材の備蓄と整備を図る。	継	地区役員 自警団員 消防団員	消防課
快適な地域づくりの推進	(2) 安全な生活の確保	消防施設整備事業	配置計画に沿って市内の各地区に消火栓・貯水槽を適正に設置をする。	継	市民	消防課
快適な地域づくりの推進	(2) 安全な生活の確保	ごみ減量化・再資源化事業	ごみ減量化のため、資源物の排出機会の拡大を目的に日曜回収を行う。 リサイクル可能なものを特別回収資源物として回収を行う。 資源物回収団体に報奨金を交付する。 生ごみの減量化を推進するため、堆肥化機器等の購入費の一部を助成する。	継	市民	環境課
快適な地域づくりの推進	(3) 快適な環境の確保	環境保全対策事業	環境保全を図るため、自然観察会、環境保全活動への支援を行う。	継	市民	環境課
快適な地域づくりの推進	(3) 快適な環境の確保	森林整備事業	生活環境保全や、保健環境文化機能を有効的に活用するため、森林整備を行う。	継	市内	農業振興課
快適な地域づくりの推進	(3) 快適な環境の確保	松くい虫防除対策事業	健全森林の保全を図るため、松くい虫被害木の駆除を実施する。	継	市内	農業振興課
快適な地域づくりの推進	(3) 快適な環境の確保	河川安全対策等事業	河川及び河川敷の良好な環境の維持等に努める。	継続	市民	道路河川課
快適な地域づくりの推進	(3) 快適な環境の確保	景観美化推進事業	地域景観整備事業補助金の活用により、市民による地域景観育成の促進を図る。	継	市民	都市計画課

令和2年度 実施状況		令和3年度 実施計画	
回数・参加人数等	現状と課題	概要	期待される効果
加入者数 ・一般 19,771名 ・学童 5,684名	加入者が減少傾向にあり、加入者増加に繋がる施策を講じる必要がある。	万一の交通事故に備えて、乳幼児・児童・生徒の会費を市費負担するとともに、市民の交通災害共済の加入促進を図る。	交通事故により損害を受けた者を救済し、もって住民の生活の安定と福祉の増進。
防犯灯設置補助 ・事業量 162灯 ・補助金額 2,267,468円 市防犯協会への補助 200,000円	防犯灯の維持・管理費用が、区の負担になりつつある。	防犯灯設置事業に対し、経費の一部を補助するとともに、市防犯協会に対し補助を行い、防犯に努める。	犯罪防止と、区の財政的な負担を軽減することで、地域住民の安全安心の向上。
消費生活相談件数 154件 高齢者消費者被害防止塾の開催回数 0回 参加者 0名 ※新型コロナウイルス感染防止のため	年々、特殊詐欺は巧妙化していることから、継続的な啓発が必要である。	消費生活の保護を図るため、相談、啓発事業を促進する。	住民の消費者被害の防止や救済、抑止。
毎月7日警鐘による火災予防意識の喚起 春の火災予防パレード 秋の火災予防パレード	あらゆる機会を通じて住宅火災警報器の普及啓発活動を進めている。	毎月7日警鐘による火災予防意識の喚起 春の火災予防パレード 秋の火災予防パレード	火災予防意識の普及、高揚。
中野市総合防災訓練 年1回 長野県総合防災訓練 年1回 中野市消防団総合技術訓練 年1回 消防協会主催の大会、訓練	団員は構成が高齢化している。 また、各部の定員確保に地域格差が生じ、団員確保が厳しい地域がある。	中野市総合防災訓練 年1回 長野県総合防災訓練 年1回 中野市消防団総合技術訓練 年1回 消防協会主催の大会、訓練	有事に対応できるよう各種訓練を実施することによる防災意識の普及高揚。
大規模水害を想定し中野市管内全域を災害拠点として訓練を実施	集中豪雨等による浸水被害での境内水の排水対策	令和元年東日本台風に伴い導入した、固定式排水ポンプ及び大型資機の運用訓練を実施する。また、水防工法等の習熟を目的に管内の水害に対する消防団の実働訓練を実施する。	水害、土砂災害等による被害軽減のための知識及び技術向上と体制の強化。
貯水槽 ・新規1基 ・修繕1基	配置計画により整備をしているが既設の消防水利施設の修理が増加してきている。	貯水槽の新設	消防水利の不足している地域に計画的に設置し地域の消防水利の充実強化。
・資源物の日曜回収 9回 ・古着・古布・食用油の回収 9回 ・剪定枝の回収 1回 ・硬質プラスチックの回収 9回 ・陶磁器の回収 2回 ・報奨金交付団体数 6団体(7回) ・生ごみ堆肥化機器助成 45件	・リサイクル可能な分別区分を更に研究する必要がある。	・資源物の日曜回収 10回 ・古着・古布・食用油の回収 10回 ・硬質プラスチックの回収 10回 ・陶磁器の回収 2回 ・報奨金交付団体数 14団体 ・生ごみ堆肥化機器助成 35件	・資源物の回収機会をより多く設けることにより市民の分別意識、環境問題等への意識向上。
・ラフティングによる自然観察会(令和元年東日本台風の影響により中止)		・ラフティングによる自然観察会 10回	・日常生活ではできない貴重な体験の中で、自然環境の保全意識の向上。
藪刈等 除伐等実績3.65ha		生活環境保全や、保健環境文化機能を有効的に活用するため、森林整備を行う。	森林の有する公益的機能の維持。
松くい虫の伐倒作業 1回10.26m ³		健全森林の保全を図るため、松くい虫被害木の駆除を実施する。	健康な森林の保全及び景観の保全。
河川パトロールを行い、河川及び河川敷の良好な環境の維持等に努める。	計画どおり実施した。	河川及び河川敷の良好な環境の維持等に努める。	河川及び河川敷の良好な環境の維持。
交付なし。	当該事業の活用により、市内の景観育成の推進を図る。	地域景観整備事業補助金の交付により、市民による地域景観育成の促進を図る。	景観育成重点地域内での景観維持。 市民による地域景観育成の促進。

生涯学習推進体制の充実

第二分類	施策名 (第三分類)	事業名	実施(計画)内容	新・継	対象	所管課
生涯学習推進のための機関	(1) 市民意見の反映	生涯学習のまちづくり推進事業	広く生涯学習推進について意見を聞き、施策に反映させる。	継	委員	生涯学習課
生涯学習推進のための機関	(2) 生涯学習推進体制の強化	生涯学習のまちづくり推進事業	生涯学習推進本部において、生涯学習の施策を総合的に推進する。	継	市職員	生涯学習課
生涯学習推進のための機関	(2) 生涯学習推進体制の強化	生涯学習のまちづくり推進事業	第3次中野市子ども読書活動推進計画に基づき、本市の子ども読書活動を推進する。	継	市民	生涯学習課
学習情報の提供	(1) 多様な学習情報の提供	広報広聴事業	市政の現状、計画等を市民にPRし、より親しみやすい広報紙の発行に努めるとともに、市民の多様なニーズを的確に市政に反映させるための事業を行う。	継	市民	庶務課
学習情報の提供	(1) 多様な学習情報の提供	生涯学習のまちづくり推進事業	市民が学習活動を進めるために、各種学習情報の提供を図る。	継	市民	生涯学習課

令和2年度 実施状況		令和3年度 実施計画	
回数・参加人数等	現状と課題	概要	期待される効果
<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習推進会議の開催 2回 生涯学習推進会議(小委員会) 2回 社会教育委員会議の開催 2回 社会教育委員研修視察及び学習会 1回 	<p>テーマを定めた幅広い方面からの意見集約が必要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習推進会議の開催 2回 社会教育委員会議の開催 2回 	<p>生涯学習のまちづくりの推進。</p>
<ul style="list-style-type: none"> 開催なし 		<p>市の行う生涯学習に関する施策について、総合的な企画及び調整(必要に応じ)</p>	<p>生涯学習のまちづくりに関する施策を総合的な推進。</p>
<ul style="list-style-type: none"> 中野市子ども読書活動推進連絡会議の開催 2回 家庭読書活動推進事業 子ども読書活動「ファミリー賞」3家族 	<p>連絡会議において、推進状況についての連絡調整を行っている。</p>	<p>中野市子ども読書活動推進連絡会議 2回 家庭読書活動推進事業(子ども読書活動「ファミリー賞」募集・表彰)</p>	<p>市が行う子どもの読書活動に関する施策の総合的な推進。</p>
<p>(1)「広報なかの」の発行毎月1回 4月～3月号 15,800部 (2)広報写真の掲示 市内14か所 (3)音声告知放送による音声放送の実施 依頼件数 596件 (4)ケーブルテレビ文字放送の実施 依頼件数 413件 (5)庁内報の発行 毎週1回 (6)施設見学の実施 中野小 1回71人 (7)市長定例記者会見の開催 4回 (8)市民の市政に対する提案・要望の把握「私の提言」 46件 (9)Facebookの配信 配信回数 175回 登録者数 1,113人(3月末) 年間平均リーチ数 419人 (10)「公式ホームページ」の運営 (11)「くらしと防災ガイドブック(保存版)」の制作・発行</p>	<p>多様な市民ニーズの把握。 分かりやすく読みやすい紙面づくり。</p>	<p>(1)「広報なかの」の発行 (2)広報写真の掲示 市内14か所 (3)音声告知放送による音声放送の実施 (4)ケーブルテレビ文字放送の実施 (5)庁内報の発行 (6)施設見学の実施 (7)定例記者会見の開催 (8)市民の市政に対する提案・要望の把握 (9)SNS配信 (10)「公式ホームページ」の運営 (11)市民懇談会の実施 (12)「くらしと防災ガイドブック(増補版)」の制作・発行</p>	<p>市政に関する情報提供等を行うことによる市政への関心の向上。 「私の提言」等により、市政に関する提案・要望等の把握。</p>
<ul style="list-style-type: none"> 学んで育てる市民のつどいの開催 11月23日(月・祝) 中央公民館講堂 約110人 生涯学習活動発表 演目 二十四孝 発表者 中野市落語研究会 会長 飲々亭 冷奴 氏 講演会 演台 「多様性の時代に子育てはどうあるべきか」 ～旅館甲子園を通じて 学んだ子育て～ 講師 山ノ内町渋温泉 春蘭の宿さかえや 代表取締役 湯本晴彦 氏 社員 小林未来 氏 中野まなびい塾の開催 11回 延べ参加者207名 生涯学習情報(冊子)の発行、各施設等、公民館分館への配布 年4回 市公式ホームページでの情報提供 随時 	<p>学んで育てる市民のつどいは、中野市青少年健全育成市民集会実行委員会と、中野市生涯学習推進会議の二者で開催した。中野まなびい塾への関心は高いが、新型コロナウイルス感染防止対策のため、キャンセルや開催を延期したり、開催をしないと判断した利用団体もあった。生涯学習情報を、市内各施設で配布し、情報提供に努めている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 市民集会の開催 中野まなびい塾の開催 随時 生涯学習情報(冊子)の発行、各施設等、公民館分館への配布 年4回 市公式ホームページでの情報提供 随時 	<p>市の事業を中心にあらゆる学習機会を紹介し、またイベントを開催することにより、自主的な学習活動の意識の向上。</p>

第二分類	施策名 (第三分類)	事業名	実施(計画)内容	新・継	対象	所管課
学習情報の提供	(1) 多様な学習情報の提供	生涯学習のまちづくり推進事業	本市の生涯学習推進の指針としての基本構想に基づき、毎年実施状況を調査する。	継	市民	生涯学習課
学習情報の提供	(1) 多様な学習情報の提供	中央生涯学習推進事業	館報「文化なかの」発行	継	市民	中央公民館
学習情報の提供	(2) 学習情報のネットワーク化	図書館情報サービス事業	ホームページにより、情報提供に努める。	継	市民 行政	図書館
学習情報の提供	(3) 学習相談の充実	学習相談事業	市民の問い合わせに応じることができるよう職員が対応する。	継	市民	生涯学習課 及び 各公民館
指導者の充実	(1) 指導者の養成	職員研修事業	各種研修を行い、職員の資質向上を図る。	継	市職員	庶務課
指導者の充実	(2) 指導者の発掘・活用	人材情報提供	生涯学習の指導者の情報収集と情報提供を行う。	継	市民	生涯学習課
指導者の充実	(2) 指導者の発掘・活用	中央生涯学習推進事業	高齢者人材活用事業	継	市民	中央公民館
学習成果の評価と活用場の確保	(1) 学習成果を発表する機会の確保	生涯学習のまちづくり推進事業	生涯学習を実践する団体の発表の場(機会)の提供として実施する。	継	市民	生涯学習課
学習成果の評価と活用場の確保	(1) 学習成果を発表する機会の確保	中央生涯学習推進事業	・中央公民館発表会作品展 ・文化祭(芸能祭、文化展) ・書道展	継	市民	中央公民館
学習成果の評価と活用場の確保	(1) 学習成果を発表する機会の確保	北部生涯学習推進事業	作品展・文化祭	継	市民	北部公民館
学習成果の評価と活用場の確保	(1) 学習成果を発表する機会の確保	西部生涯学習推進事業	文化祭(作品展・芸能発表)	継	市民	西部公民館
学習成果の評価と活用場の確保	(1) 学習成果を発表する機会の確保	豊田生涯学習推進事業	豊田公民館文化祭 地域のサークルや団体が主体性を高めるための、取り組みの場、活躍の場として文化祭を開催する。より積極的な取り組みができる機会として体験交流広場を開催している。	継	市民	豊田公民館

令和2年度 実施状況		令和3年度 実施計画	
回数・参加人数等	現状と課題	概要	期待される効果
・生涯学習事業状況調査の実施 全137事業	各事業の目的と生涯学習の側面からの検証が必要である。	・生涯学習事業状況調査の実施	各事業における実施状況及び計画の把握。
館報「文化なかの」発行 毎月1回	主に4公民館の講座等情報の紹介	館報「文化なかの」発行 毎月1回	4公民館主催の講座等のPR
ホームページにより、情報提供に努めた。信濃毎日新聞、法情報データベースに加え国立国会図書館データベースを利用可能としている。	データベースの利用が可能となっている。	ホームページ、情報システム、データベースにより、情報提供に努める。	総括的な情報の入手。
生涯学習課及び各公民館における相談	情報の共有が難しいため、総合的な情報提供ができない。	・生涯学習課及び各公民館における相談	生涯学習情報を詳細に提供。
部課長研修 2人 係長研修 8人 ほか、専門研修	職務の都合上、十分な研修時間の確保が難しい。研修内容に市民ニーズを反映しにくい。	部課長研修 管理者研修 係長研修 ほか、専門研修	資質の高い指導者の養成。
生涯学習情報（冊子）への掲載	新たな指導者の登録が少ない。	生涯学習情報（冊子）への掲載	様々な知識の伝承。
高齢者人材活用事業 実施数 1回 参加延べ人数 11人	指導者の登録が少ない。	高齢者人材活用事業 実施回数未定	分館活動の活性化及び生涯学習の推進。
学んで育てる市民のつどい の開催 11月23日中央公民館講堂 約110人 生涯学習活動発表、講演会	活動発表のあり方に検討が必要	市民集会を開催する。	活動発表の場を提供。学ぶ人の学習意欲の向上。
中央公民館作品展 実施数 1回 来場者数 132人 ※新型コロナウイルス感染防止のため中止となった事業 文化祭【芸能祭、文化展】 書道展 中央公民館発表会	参加者の高齢化がみられる。	中央公民館発表会作品展 文化祭（芸能祭、文化展） 書道展	地域住民の文化芸術活動の発展及び利用団体のサークル活動の充実。
地域文化創造祭北部公民館文化祭 演奏会・作品展・芸能祭 ※実行委員会において検討し、中止（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため）	例年、多くの出品作品及び出演団体があり、パリエーションに富んだ行事となっている。	地域文化創造祭北部公民館文化祭 演奏会・作品展・芸能祭 1回	地域文化の発表の場として、文化活動の裾野を広げる機会の提供。
西部公民館文化祭作品展のみ開催 参加延べ人数 142人 ※芸能発表は、新型コロナウイルス感染防止のため中止 西部地区分館対抗球技大会 ※新型コロナウイルス感染防止のため中止	文化祭の芸能発表と分館対抗の球技大会は新型コロナウイルス感染防止対策により大勢の参加による『三密』を避けるため中止としました。	西部公民館文化祭 作品展・芸能発表（状況に応じて作品展示のみの開催となります） 西部地区分館対抗球技大会 1回（こちらも同じ）	西部地区の住民の文化やスポーツを通して、交流や活動発表の場の提供。公民館を利用している各サークル・団体の方の発表の場を提供。
豊田公民館文化祭 1回 作品展 651点 体験交流広場 4団体 参加延べ人数 706人 音楽祭 中止 ※新型コロナウイルス感染防止のため	自由な取り組みができる場として体験交流広場を開催し、文化祭におけるサークル等の主体的な参画につなげている。	豊田公民館文化祭 作品展 体験交流広場 音楽祭	主体的な社会への参画。地域住民の文化芸術活動の発表及びサークル活動の向上

第二分類	施策名 (第三分類)	事業名	実施(計画)内容	新・継	対象	所管課
学習の場の充実	(1) 施設の活用	図書館運営事業	市民の生涯学習支援を行うため、図書館資料の充実を図る。また、幅広い市民ニーズを提供するための図書館運営に努める。	継	市民 行政	図書館
学習の場の充実	(1) 施設の活用	博物館運営事業	常設展示室・収蔵展示室 中野市の自然と歴史・文化等、展示資料の調査研究、資料整備に努める。また、重要文化財等貴重な資料の展示公開 プラネタリウム プラネタリウムを通して天体、天文を学習する場としての活用に努める。	継	市民	博物館
学習の場の充実	(1) 施設の活用	保健センター管理運営事業	市民の健康保持に資するため、休日診療・各種検診・予防接種(65歳以上)・栄養指導・健康相談等が円滑に実施できるよう適切な管理運営を行う。	継	市民	健康 づくり課
学習の場の充実	(1) 施設の活用	精神障がい者社会復帰事業	中野市びあワーク就労支援施設管理運営事業、中野市りんごの木共同作業所管理運営事業を指定管理者である社会福祉協議会で行う。	継	障がい者	福祉課
学習の場の充実	(1) 施設の活用	生きがい施設管理事業	高齢者センター管理運営事業	継	高齢者	高齢者 支援課
学習の場の充実	(1) 施設の活用	児童センター管理運営事業	両親及び家族が労働等により昼間家庭にいない児童等に健全な遊び場を提供し、児童の自主性、社会性、創造性などを高めるなど、児童の健全育成を図る。	継	保護者 児童	子育て課

令和2年度 実施状況		令和3年度 実施計画	
回数・参加人数等	現状と課題	概要	期待される効果
(1) 図書資料の収集、整理、貸出業務 (2) 魅力ある図書館づくりの推進 親子ふれあいセミナー 年2回 52人 子どもの本読み聞かせ会 年12回 創作教室 年6回 87人 図書館まつり 読書週間に併せて2日間開催 文化講演会 1回 47人 文学講座 2回 63人 ビデオ上映会 19回 103人 市民ギャラリーの開設 毎月	新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、春のこどものとしょかんまつり、夏休みの工作教室などイベントの中止があった。また、感染予防のため、イベント実施の際には定員を少なくして実施しなくてはならない状況にある。	(1) 図書資料の収集、整理、貸出業務 (2) 魅力ある図書館づくりの推進 親子ふれあいセミナー 年2回 子どもの本読み聞かせ会 年12回 創作教室 年6回 図書館まつり 読書週間に併せて開催 文学講座 年1回 ビデオ上映会 年24回 おはなし会スペシャル 2日 市民ギャラリーの開設 毎月	生涯学習支援のための図書館資料等を充実させ、幅広い市民ニーズに対応することにより、利用者の増加が期待される。
博物館管理事業 企画展示 冬季展 近世から近代の11か月 中野縣 (11/21～1/31) 278名 エントランス展 信州中野きのこ生産の歴史と未来(9/4～11/30) 2,697名 エントランス展 かるたで知る民具の世界 前期(2/3～3/12) 619名 後期(3/17～4/18) 665名 特別展示 高橋由一「第11代山田莊左衛門顕善像」(7/22～8/31) 219名 プラネタリウム運営事業 プラネタリウム観覧者(土・日・祝・期間特別投影・平日・夜間企画投影) 2,242名 平日・夜間企画投影 アフタ7ヒーリングプラネタリウム 91名 天文講演会 1回 61名	博物館施設維持管理及び更新	博物館管理事業 企画展示・講演会の実施 プラネタリウム通常・企画投影の実施 各種イベント事業の実施	博物館施設維持管理や更新による快適な環境の提供。市民の学習支援。
市民の健康保持に資するため、休日診療・各種検診・予防接種・栄養指導・健康相談等が円滑に実施できるよう適切な管理運営を行った。	より多くの市民に利用していただけるよう様々な利用方法を検討していきたい。	市民の健康保持に資するため、休日診療・各種検診・予防接種・栄養指導・健康相談等が円滑に実施できるよう適切な管理運営を行う。	各種事業の会場の提供。
中野市びあワーク就労支援施設管理運営事業、中野市りんごの木共同作業所管理運営事業を指定管理者である社会福祉協議会で行った。	作業受注の減少	中野市びあワーク就労支援施設管理運営事業、中野市りんごの木共同作業所管理運営事業を指定管理者である社会福祉協議会で行う(精神障害者社会復帰施設管理)。	精神障がい者の社会復帰の促進。
高齢者センター管理運営事業 利用人数 613人	施設利用者は定着傾向にあり、新規利用者が増加するよう周知等の改善が課題となっている。	高齢者センター管理運営事業 利用人数 1,000人	高齢者の教養、健康増進及び生きがいづくりの推進。
中野児童センター 162人 平野児童センター 104人 中野市児童センター運営委員会 1回 出席者 13人	保護者のニーズが多様化している。	中野児童センター 155人 平野児童センター 105人 中野市児童センター運営委員会 1回 出席者 15人	安心安全な居場所を確保することにより保護者の就労支援。 上記支援による児童の健全育成。

第二分類	施策名 (第三分類)	事業名	実施(計画)内容	新・継	対象	所管課
学習の場の充実	(1) 施設の活用	人権センター管理運営事業	市民の福祉の向上、人権教育及び啓発のため交流の拠点となる開かれたコミュニティーセンターとして、人権センターにおいて生活上の各種相談事業及び人権課題の解決のための各種事業を総合的に行い、もって人権問題の速やかな解決に資する活動を行う。	継	市民	人権・男女共同参画課
学習の場の充実	(1) 施設の活用	乗馬センター管理運営事業	乗馬等を通じ、健康で潤いのある市民生活を推進し、畜産等へ理解を深めるため、乗馬センターを適切に維持管理する。	継	市民	農業振興課
学習の場の充実	(1) 施設の活用	農村環境等改善センター帯の瀬ハイツ管理運営事業	農業従事者の相互理解等を通じた地域農業の振興、豊かで住みよい地域づくりのための拠点施設として、農村環境改善センター帯の瀬ハイツを適切に維持管理する。	継	市民	農業振興課
学習の場の充実	(1) 施設の活用	多目的森林公園管理事業	市民の憩いとやすらぎの場として、公園の管理を行う。	継	市民	農業振興課
学習の場の充実	(1) 施設の活用	観光施設管理運営事業	日本人形資料館、間山温泉公園、豊田温泉公園等既存の観光施設の管理及びリピーター観光客の増加を図るため、展示内容の充実、利便性の向上、企画展示等の運営を行う。	継	市民等	商工観光課
学習の場の充実	(1) 施設の活用	一本木公園施設管理事業	一本木公園展示館及び中野小学校旧校舎・信州中野銅石版画ミュージアムの維持管理を行う。	継	市民	都市計画課
学習の場の充実	(2) 施設の充実	学校施設整備事業	破損及び老朽化した箇所の施設整備を行う。また、長寿命化計画を策定し、適切な施設整備を行う。	継	学校	学校教育課
学習の場の充実	(2) 施設の充実	教育コンピュータ設置事業	各教科や総合的な学習の時間で情報教育の推進を図るため、教育用及び校務用コンピュータを整備する。	継	学校	学校教育課
学習の場の充実	(2) 施設の充実	管理運営事業	公民館管理運営事業	継	市民	中央公民館
学習の場の充実	(2) 施設の充実	管理運営事業	公民館管理運営事業	継	市民	北部公民館
学習の場の充実	(2) 施設の充実	管理運営事業	文化センター管理運営事業	継	市民	西部公民館

令和2年度 実施状況		令和3年度 実施計画	
回数・参加人数等	現状と課題	概要	期待される効果
市民の福祉の向上、人権教育及び啓発のための交流の拠点となる開かれたコミュニティセンターとして、人権センターにおいて生活上の各種相談事業及び人権課題の解決のための各種事業を総合的に行い、もって人権問題の速やかな解決に資する活動を行った。	更なる交流の拠点となるよう周知に努める。	市民の福祉の向上、人権教育及び啓発のための交流の拠点となる開かれたコミュニティセンターとして、人権センターにおいて生活上の各種相談事業及び人権課題の解決のための各種事業を総合的に行い、もって人権課題の速やかな解決に資する活動を行う。	人権教育及び啓発のための住民交流の拠点の提供。
利用者 0人	新たな乗馬メニューの拡充が必要	施設廃止	
帯の瀬ハイツ利用者 延べ4,171人 月1回「帯の瀬の日」を開催 指定管理者によるギャラリー展示等	施設の老朽化	農業従事者の相互理解等を通じた地域農業の振興、豊かで住みよい地域づくりのための拠点施設として、農村環境改善センター帯の瀬ハイツを適切に維持管理する。	農業従事者の相互理解等を通じた地域農業の振興。
蕨刈等 7月～9月 建応の森及び越山		市民の憩いとやすらぎの場として、公園の管理を行う。	緑と親しむ場所を提供することによる市民の森林への関心向上。
日本土人形資料館、間山温泉公園、豊田温泉公園等既存の観光施設の管理及びリピーター観光客の増加を図るため、展示内容の充実、利便性の向上、企画展示等の運営を行った。	入館者数が減少している。	既存の観光施設の管理及びリピーター観光客の増加を図るため、展示内容の充実、利便性の向上、企画展示等の運営及びSNSなどにて情報発信を行う。	入館者数の増加。
令和2年度利用者数 一本木公園展示館 599人 中野小学校旧校舎・信州中野銅石版画ミュージアム 1,577人	施設を利用したイベント等の大半は市によるものであるため、一般の利活用を促進したい。	一本木公園展示館及び中野小学校旧校舎・信州中野銅石版画ミュージアムの維持管理を行い、更に施設活用の向上を図る。	指定管理者が常駐することにより常に快適かつ安全な施設管理運営。
市内12小中学校の破損及び老朽化した箇所を必要性・緊急性を考慮し、修繕した。	老朽化が著しい。	市内11小中学校の破損及び老朽化した箇所を必要性・緊急性を考慮し、修繕を行う。	安全で安心な学習環境の提供。
国のGIGAスクール構想に基づき児童生徒1人1台の学習用タブレット端末及び高速大容量通信ネットワーク等を整備した。 タブレット 3,700台	授業におけるタブレット端末の活用方法を検討したい。	中野市ICT活用研究委員会を開催し、各校におけるICT機器の活用を図る。	ICTの活用による学習の質、効果の向上及び学習内容の定着を図る。
中央公民館管理運営事業	中央公民館の管理運営。	中央公民館管理運営事業	中央公民館の管理運営。
公民館管理運営事業	建設から年数が経過しており、計画的な修繕が必要となる。	公民館管理運営事業	生涯学習の拠点施設として、市民の学習活動の支援。
西部文化センター管理運営事業	建設から年数が経過しており、計画的な修繕が必要となる。	西部文化センター管理運営事業	文化センターの管理運営。